

ISSN 0386-5878

土木研究所資料第2231号

土木研究所資料

直轄砂防区域における砂防ダム基数と 貯砂量、堆砂量の実態

昭和60年7月

建設省土木研究所
砂防部砂防研究室

「 Copyright © (1985) by P. W. R. I

All rights reserved. No part of this book may be reproduced by any means, nor transmitted, nor translated into a machine language without the written permission of the Director General of P. W. R. I

この報告書は、土木研究所長の承認を得て刊行したものである。したがって、本報告書の全部又は一部の転載、複製は、土木研究所長の承認を得ずしてこれを行ってはならない。」

直轄砂防区域における砂防ダム基数と 貯砂量、堆砂量の実態

砂防研究室 矢澤 昭夫
水山 高久
大場 章

要 旨 土砂の管理は水系を一貫して行う必要があり，そのためには流域内の土砂の実態を十分に把握する必要がある。

そこで，直轄砂防事業が行われている流域の砂防ダム基数，計画貯砂量および堆砂量の経年変化をとりまとめた。また，流域内および下流にある貯水池の堆砂量，砂利採取量についても入手できた資料を示した。

キーワード：砂防ダム，堆砂量

**Number of completed sabo dams and total capacity
and volume of deposited sediment of sabo dams in
the government control areas**

**Akio Yazawa
Takahisa Mizuyama
Akira Ohba**

Synopsis This report consolidates the number of sabo dams constructed by Ministry of Construction and their total sediment trap capacity and the volume of actually deposited sediment in the sabo dams. The volume of sedimentation in reservoirs is also reported in the same riversystem to compare with the sedimentation in sabo dams. Through the report readers might see the characteristics of sediment production in each drainage basin.

Key Words : Sabo dam, Sedimentation

調 査 の 目 的 と 内 容

水系一貫した土砂の管理の必要が叫ばれて久しいが、未だ研究の段階にある。管理を進めるためには、土砂の実態を十分に把握する必要がある。この調査は、直轄砂防事業が行われてきた流域において、建設された砂防ダムの基数と計画貯砂量の経年変化を調べたものである。砂防ダム堆砂量は必ずしも全ての砂防ダムで調べられているわけではない。調査対象基数の判明している流域については、これを図中に示し全体が推定できるようにしたが、調査基数が不明の流域もあるので、利用される場合にはこの点に留意されたい。また、流域内および下流の貯水池の堆砂量、砂利採取量について入手できた資料は比較のため示した。

昭和 60 年 7 月

建設省土木研究所砂防部砂防研究室

室 長	矢 澤 昭 夫
主任研究員	水 山 高 久
建設技官	大 場 章

目 次

調 査 の 目 的 と 内 容

北海道開発局

旭川開発建設部	石狩川	5
帯広開発建設部	十勝川	6

東北地建

新庄工事事務所	最上川水系	9
福島工事事務所	阿武隈川水系	10
	胆沢川	11
岩手工事事務所	石渕ダム	11

北陸地建

湯沢砂防工事事務所	信濃川下流水系魚野川	15
	“ 清津川	16
	“ 中津川	17
	信濃川下流水系	18
黒部工事事務所	黒部川水系	19
	“	20
立山砂防工事事務所	常願寺川	21
	湯川	21
	真川	22
	称名川	22
	常願寺川水系	23
金沢工事事務所	手取川	24
	手取川水系	25
飯豊山系砂防工事事務所	胎内川	26
	加治川	27
	荒川	28
	“	29
松本砂防工事事務所	姫川水系	30
	姫川	31
	信濃川上流	32
	“ 梓川水系	33
	“ 高瀬川	34
	信濃川上流高瀬川水系	35
神通川水系砂防工事事務所	神通川水系	36
	高原川	37

中部地建

多治見工事事務所	庄内川	41
	木曽川	42
静岡河川工事事務所	安倍川	43
越美山系砂防工事事務所	揖斐川	44
	横山ダム	45
富士砂防工事事務所	富士山大沢川	46
沼津工事事務所	狩野川	47
天竜川上流工事事務所	三峰川流域	48
	美和ダム（三峰川）	49
	小渋川流域	50
	小渋ダム（小渋川）	51
	太田切川	52
	中田切川	53
	与田切川	54
	片桐松川	55
	新宮川	56
	遠山川	57
	八重河内川	58

近畿地建

琵琶湖工事事務所	瀬田川	61
	天ヶ瀬ダム上流	62
木津川上流工事事務所	青蓮寺川	63
	青蓮寺ダム	64

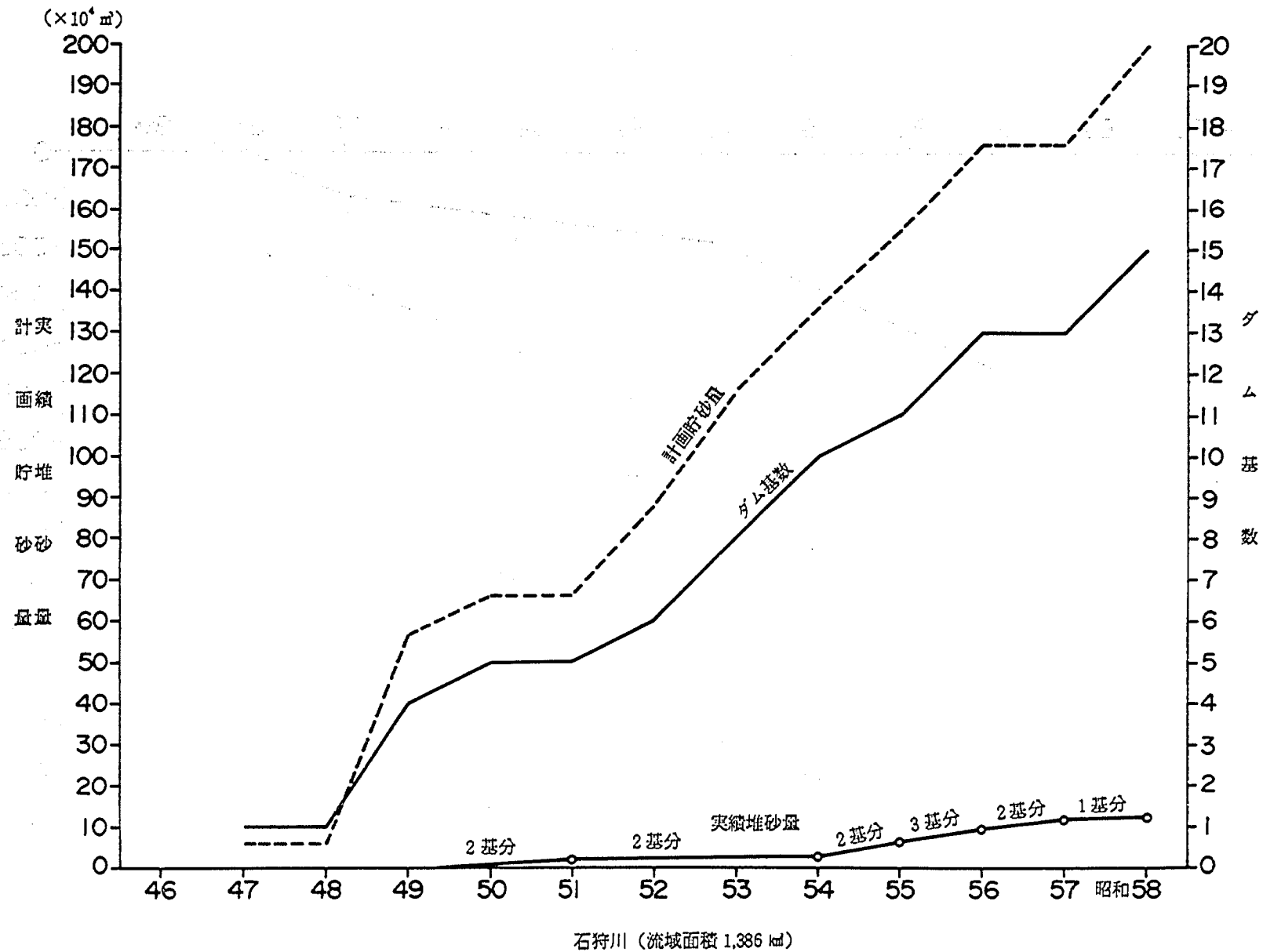
中国地建

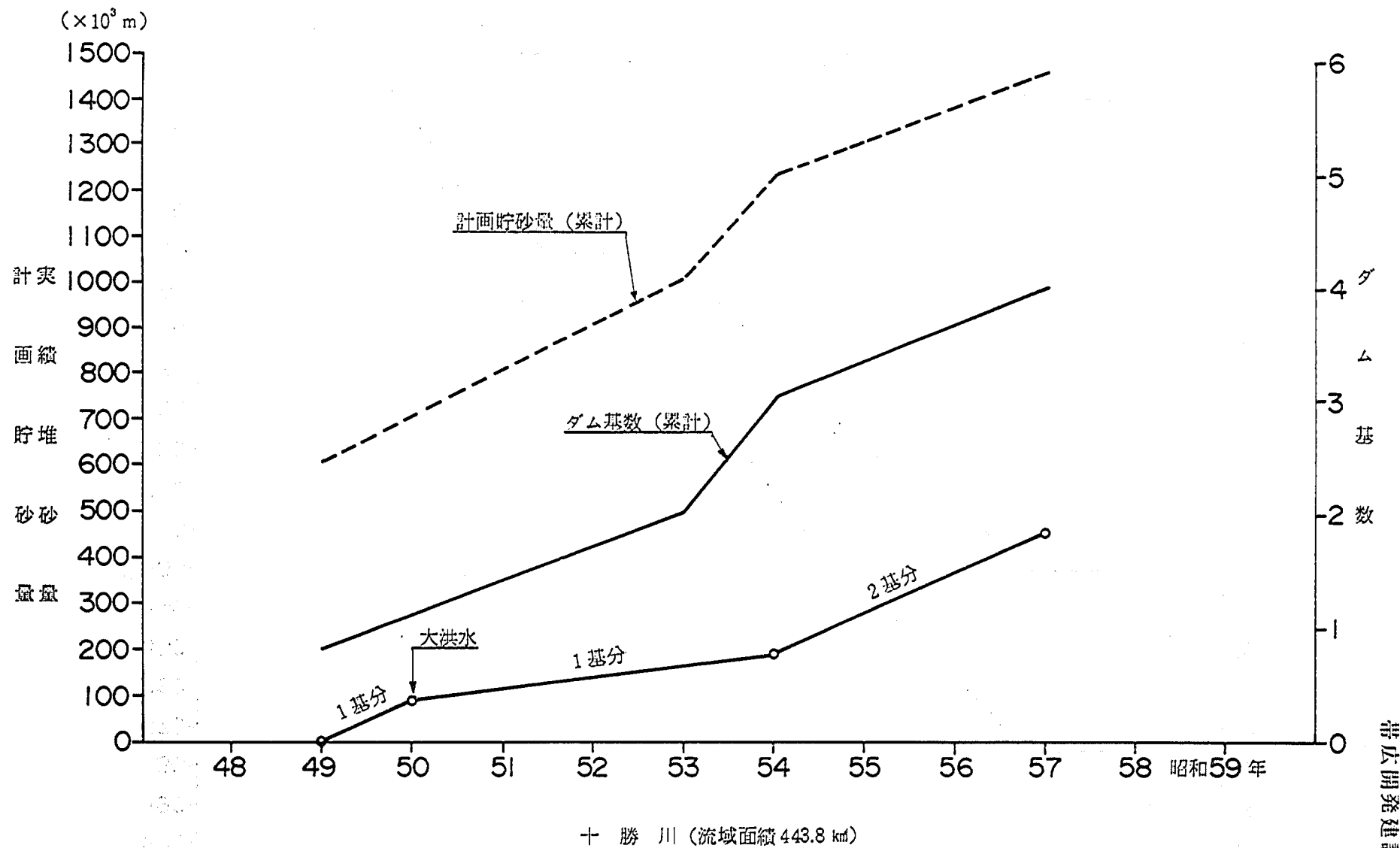
倉吉工事事務所	日野川水系	67
	天神川水系	68

四国地建

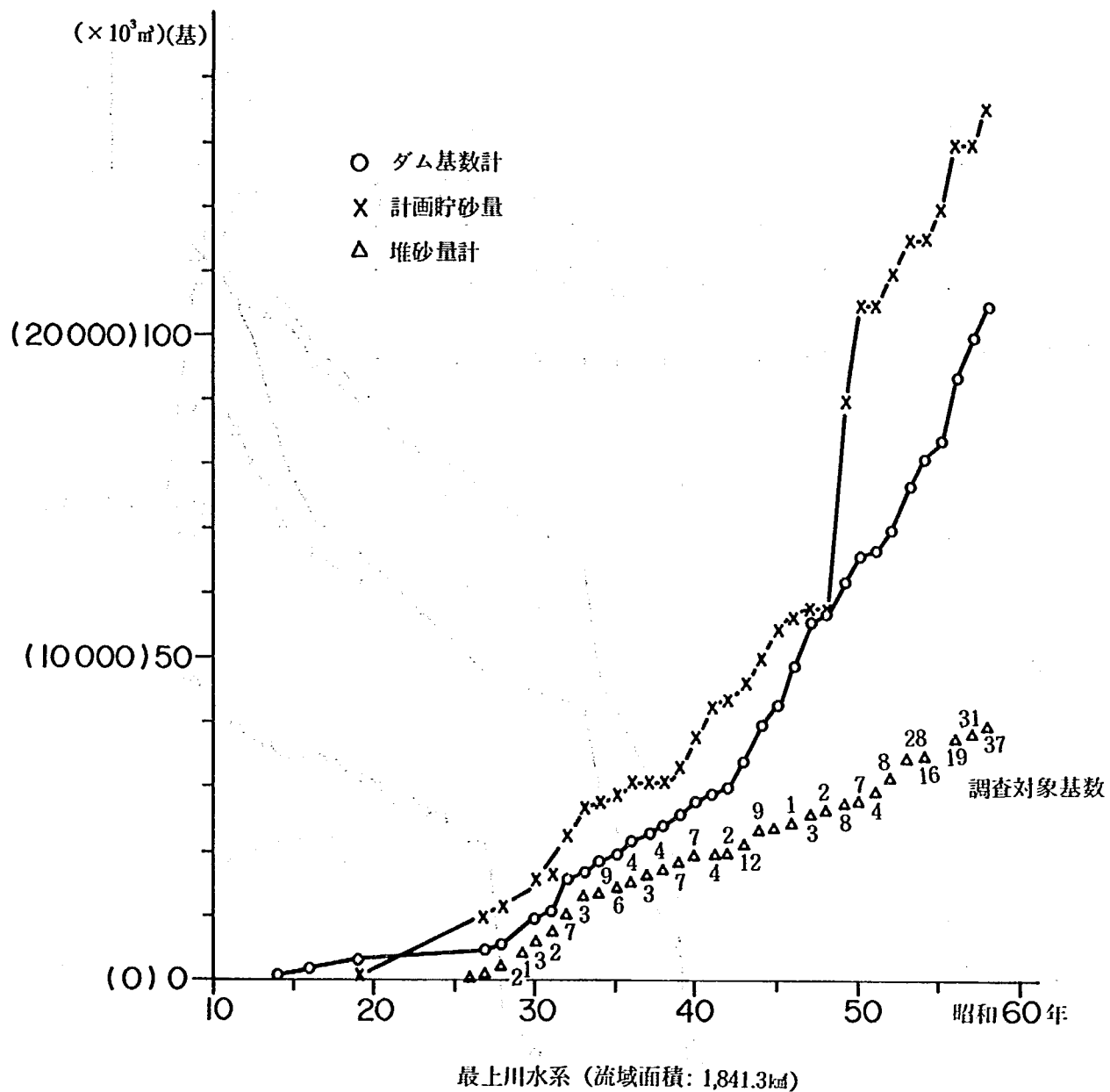
松山工事事務所	重信川	71
吉野川砂防工事事務所	吉野川全流域	72
	吉野川流域	72

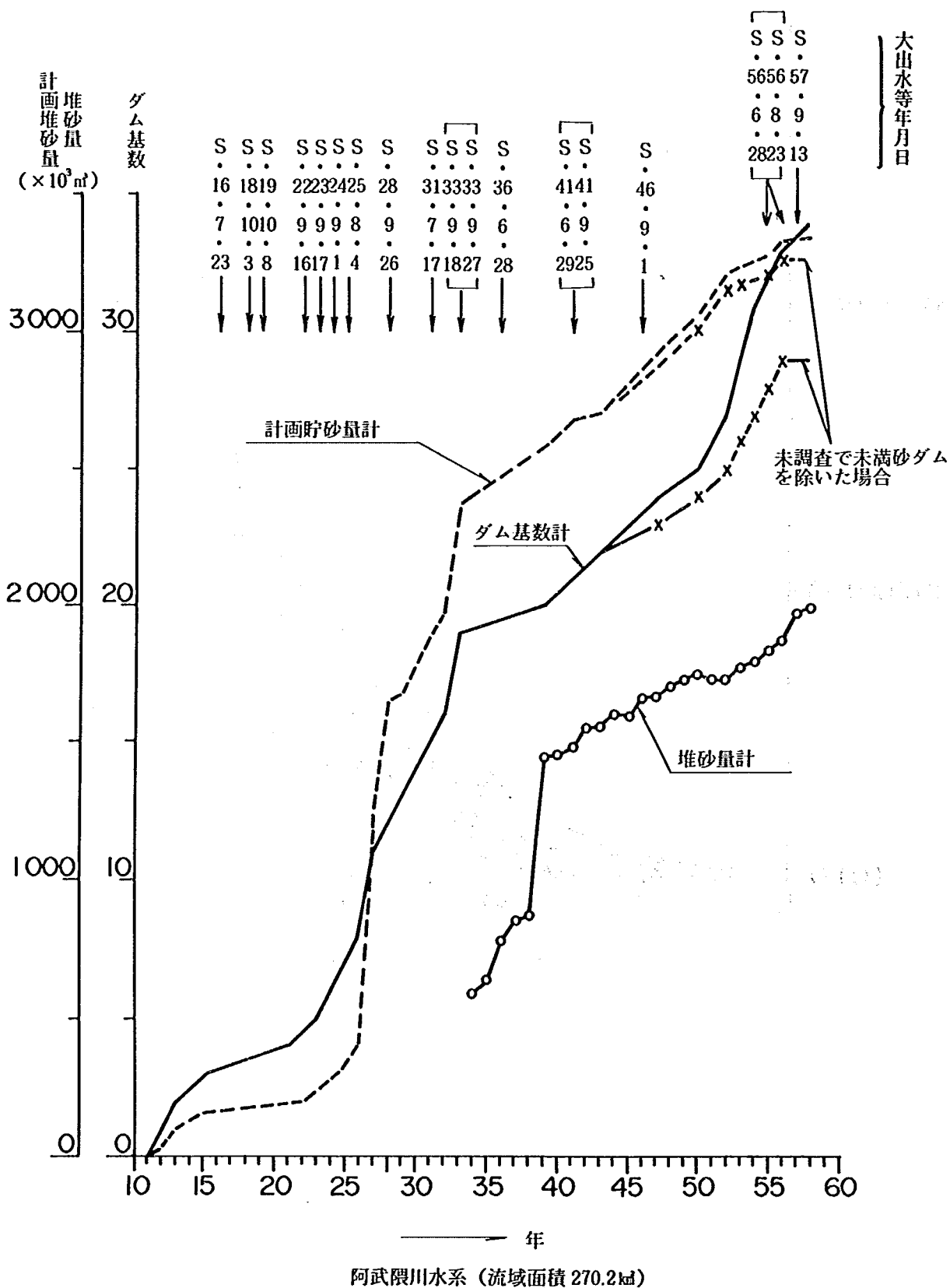
北海道開発局

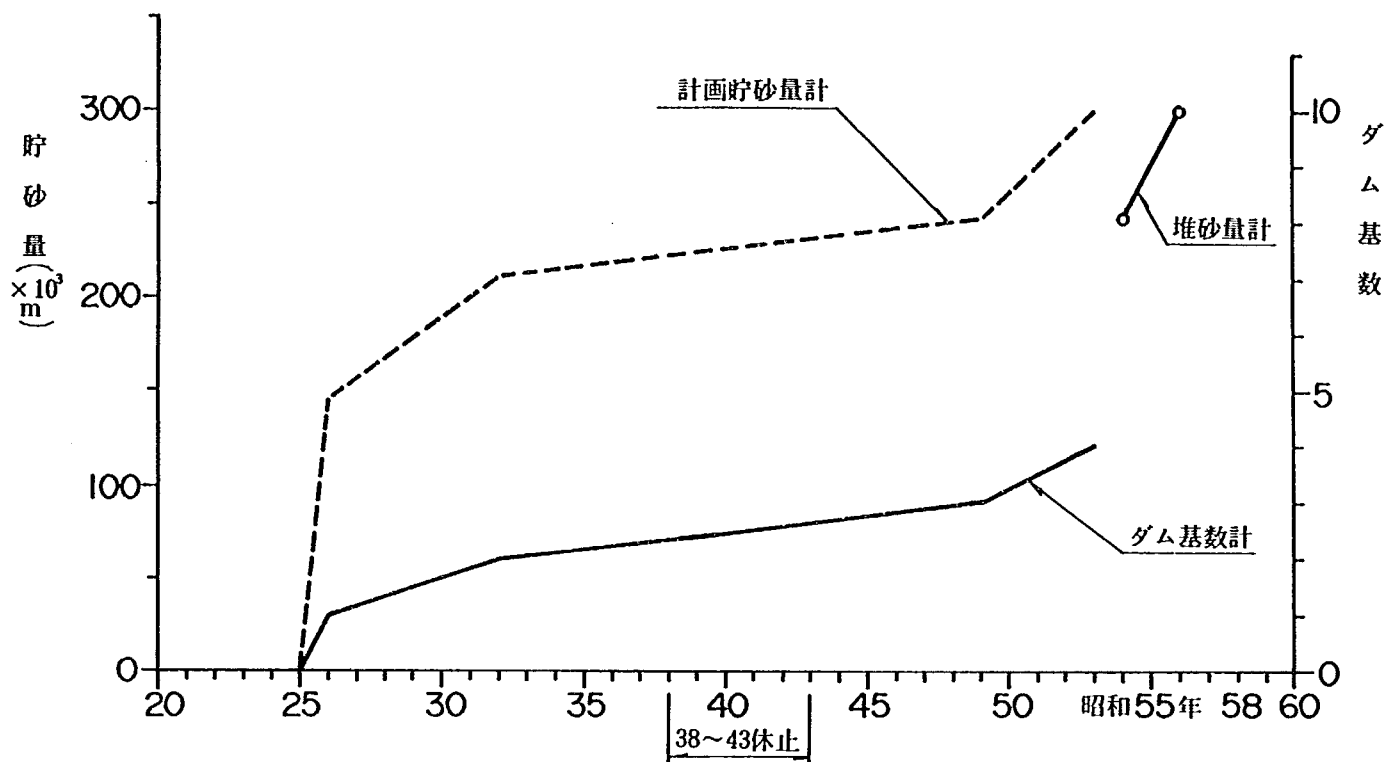




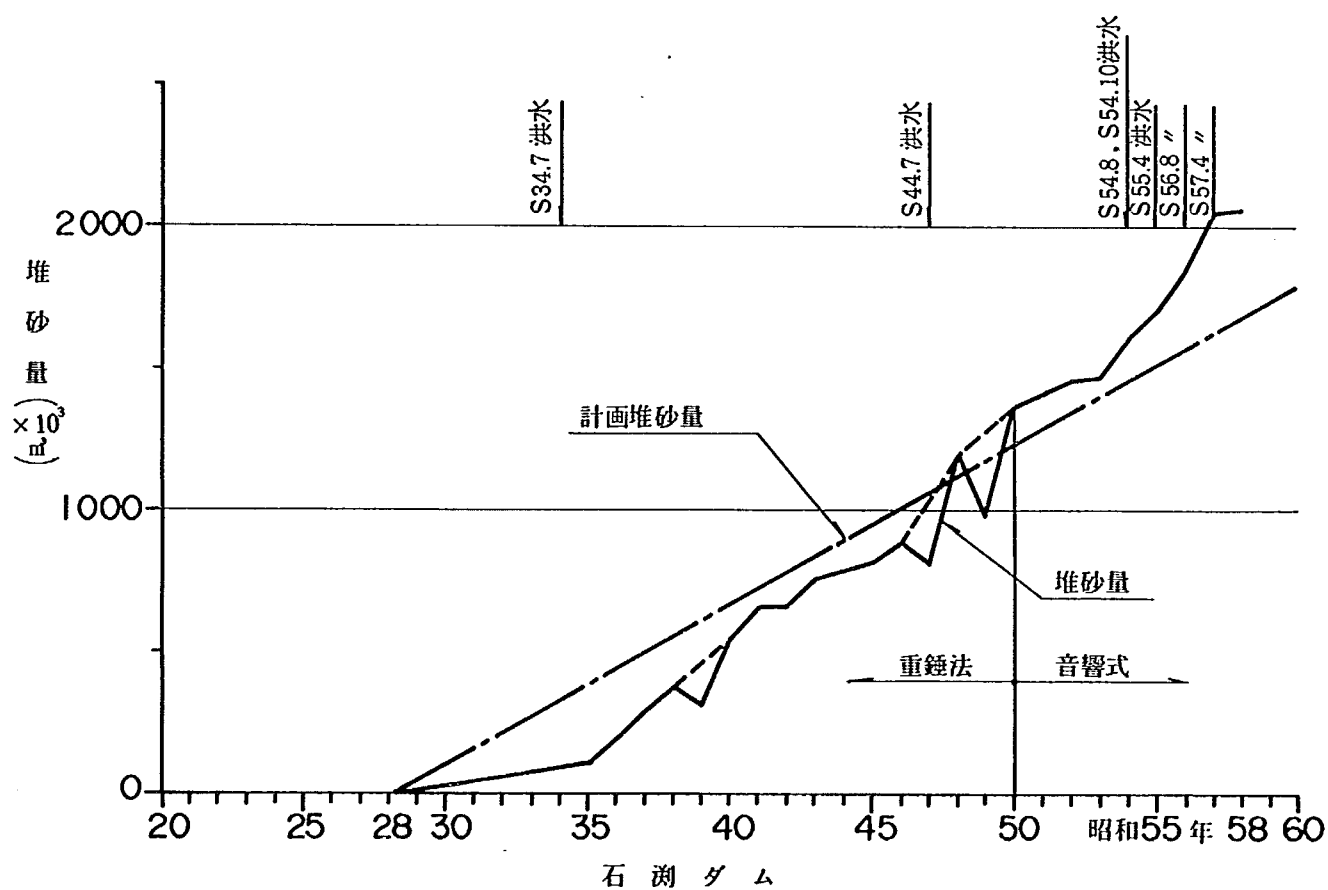
東北地方建設局



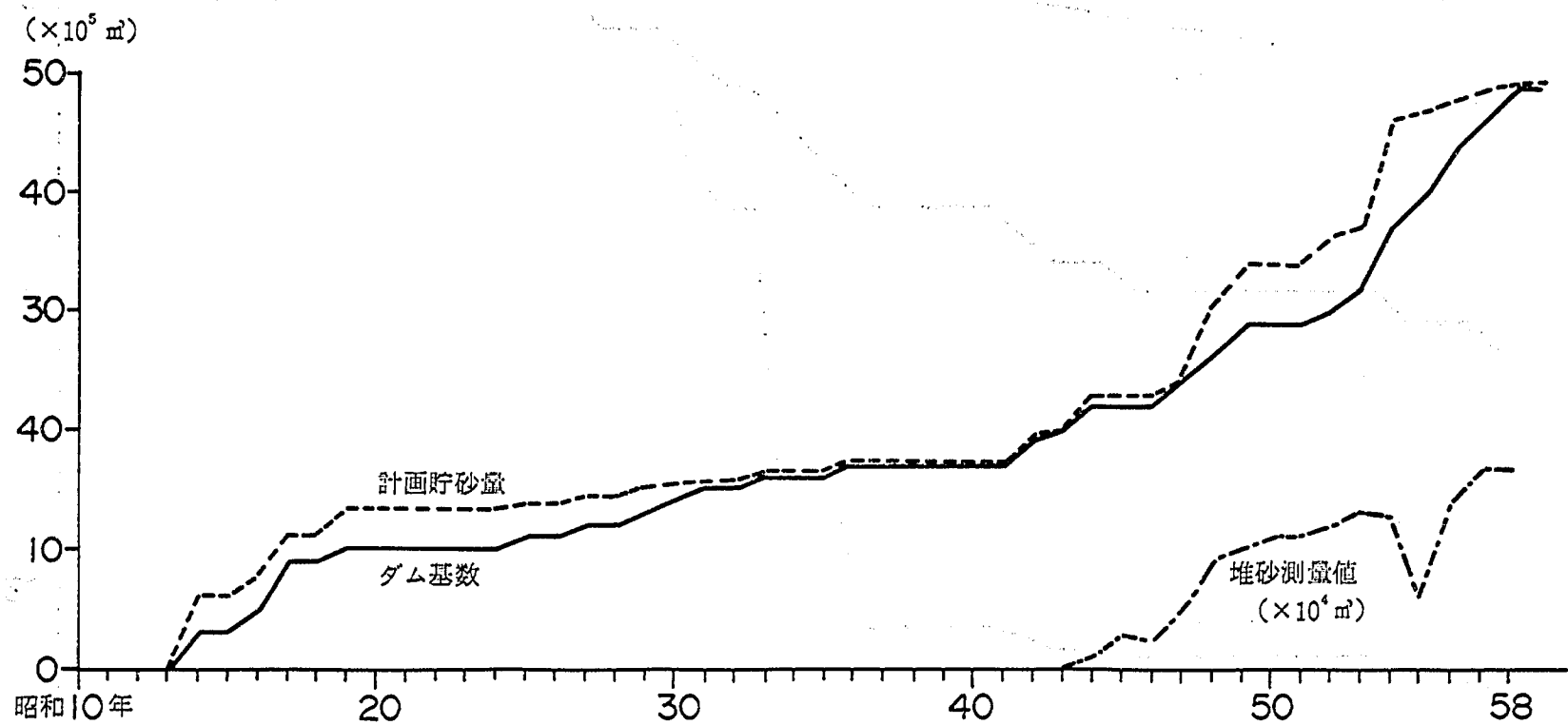




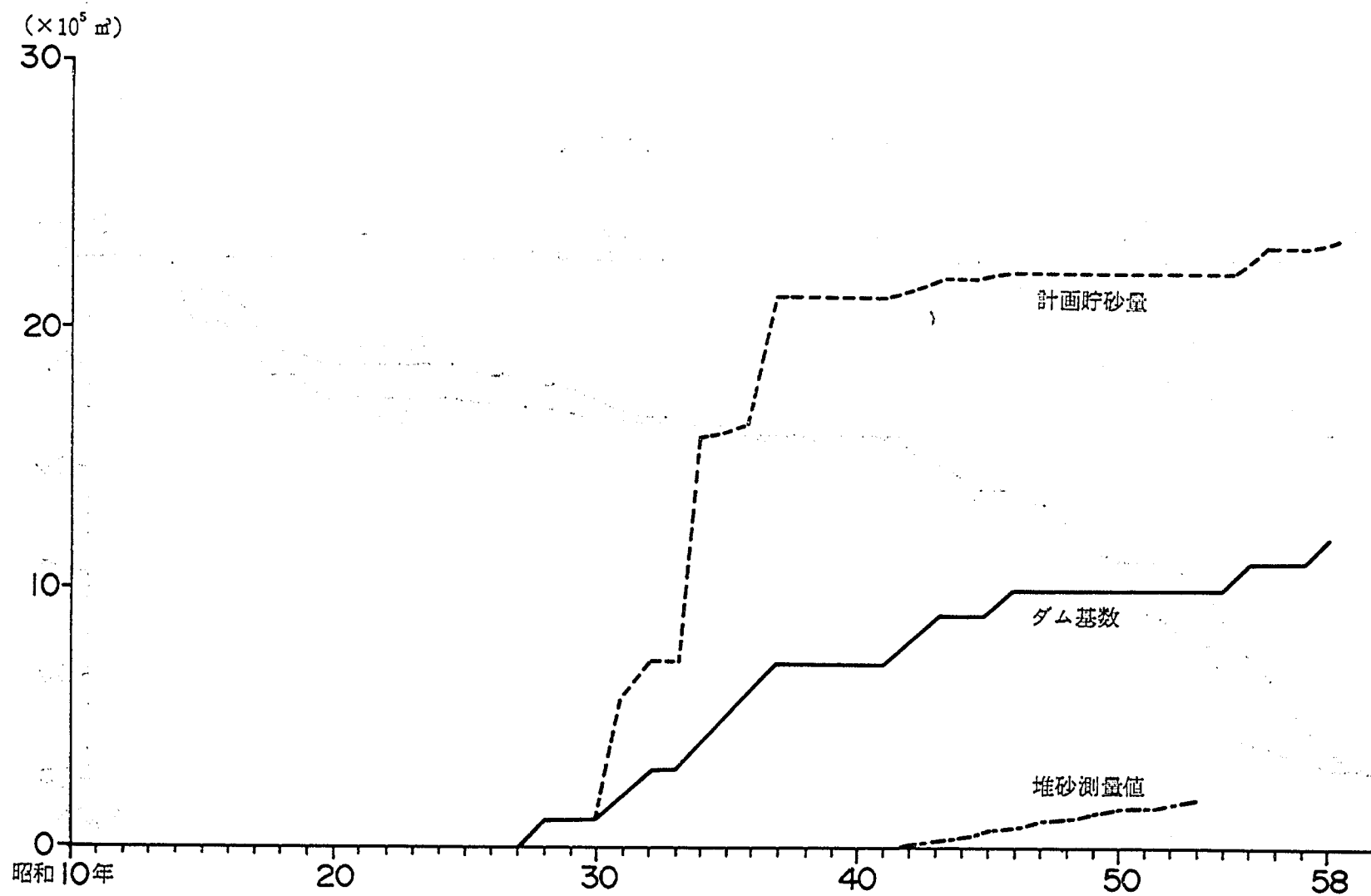
胆沢川 (流域面積 325 ㎢)



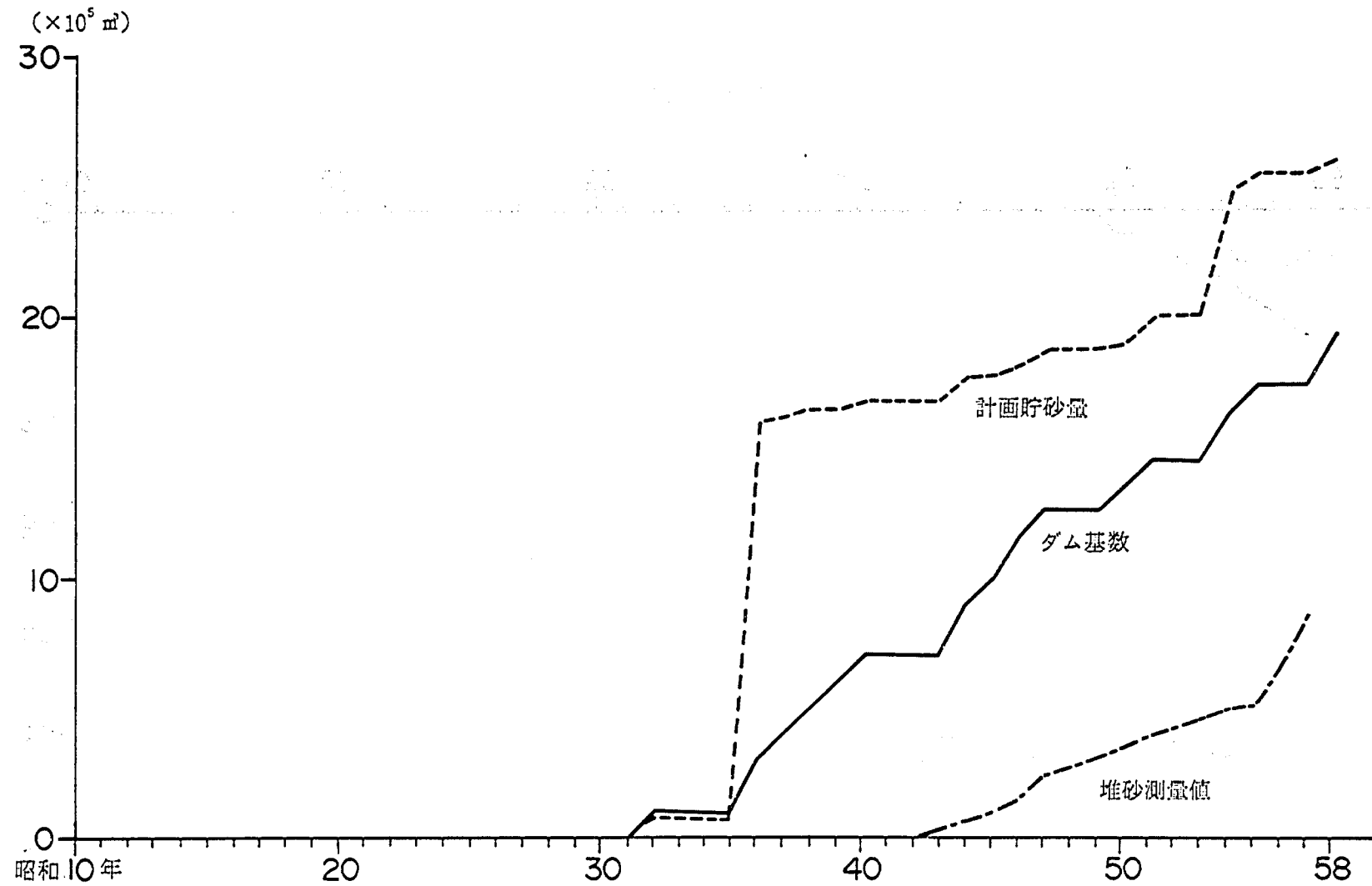
北陸地方建設局



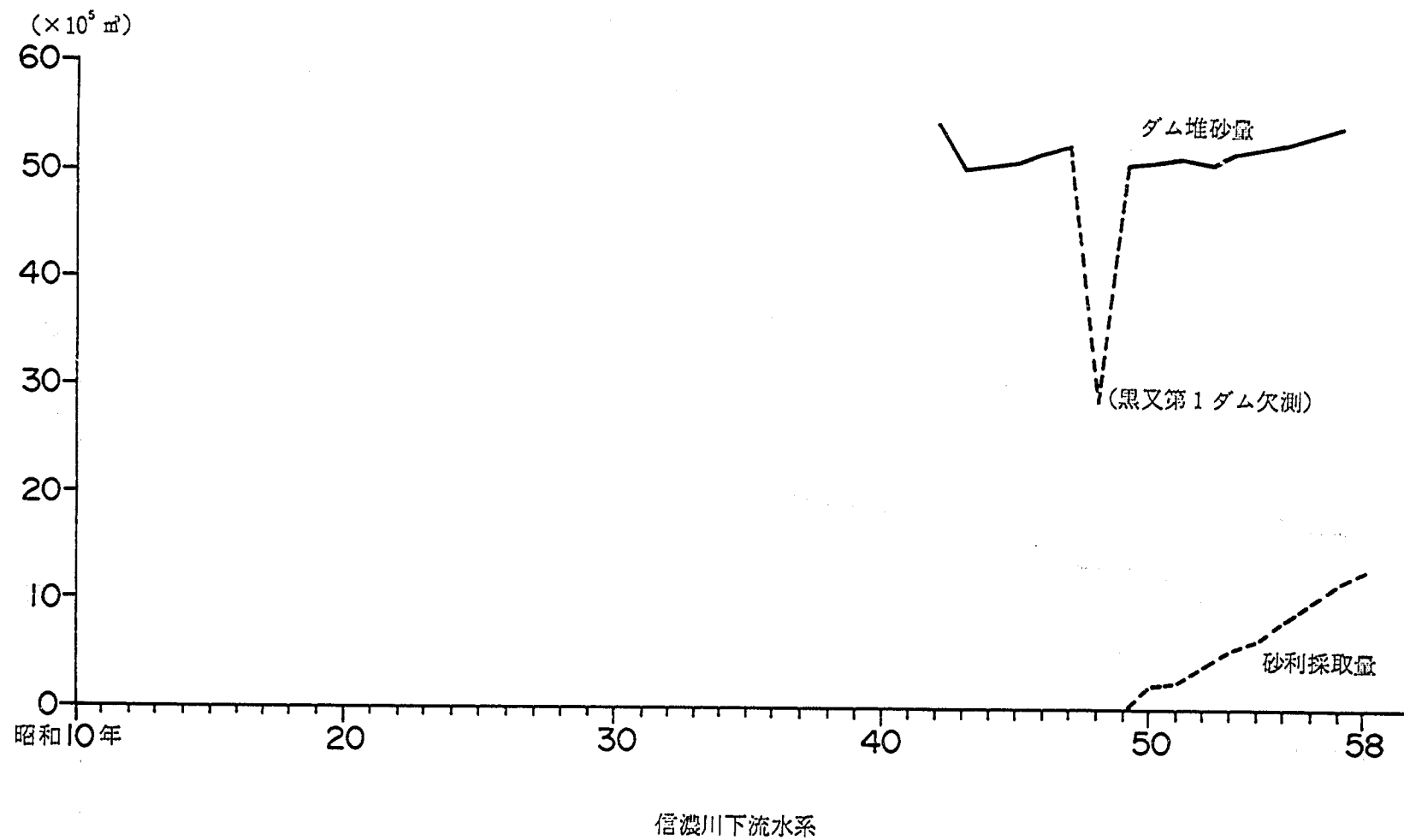
信濃川下流水系魚野川 (流域面積 1,454.1km²)

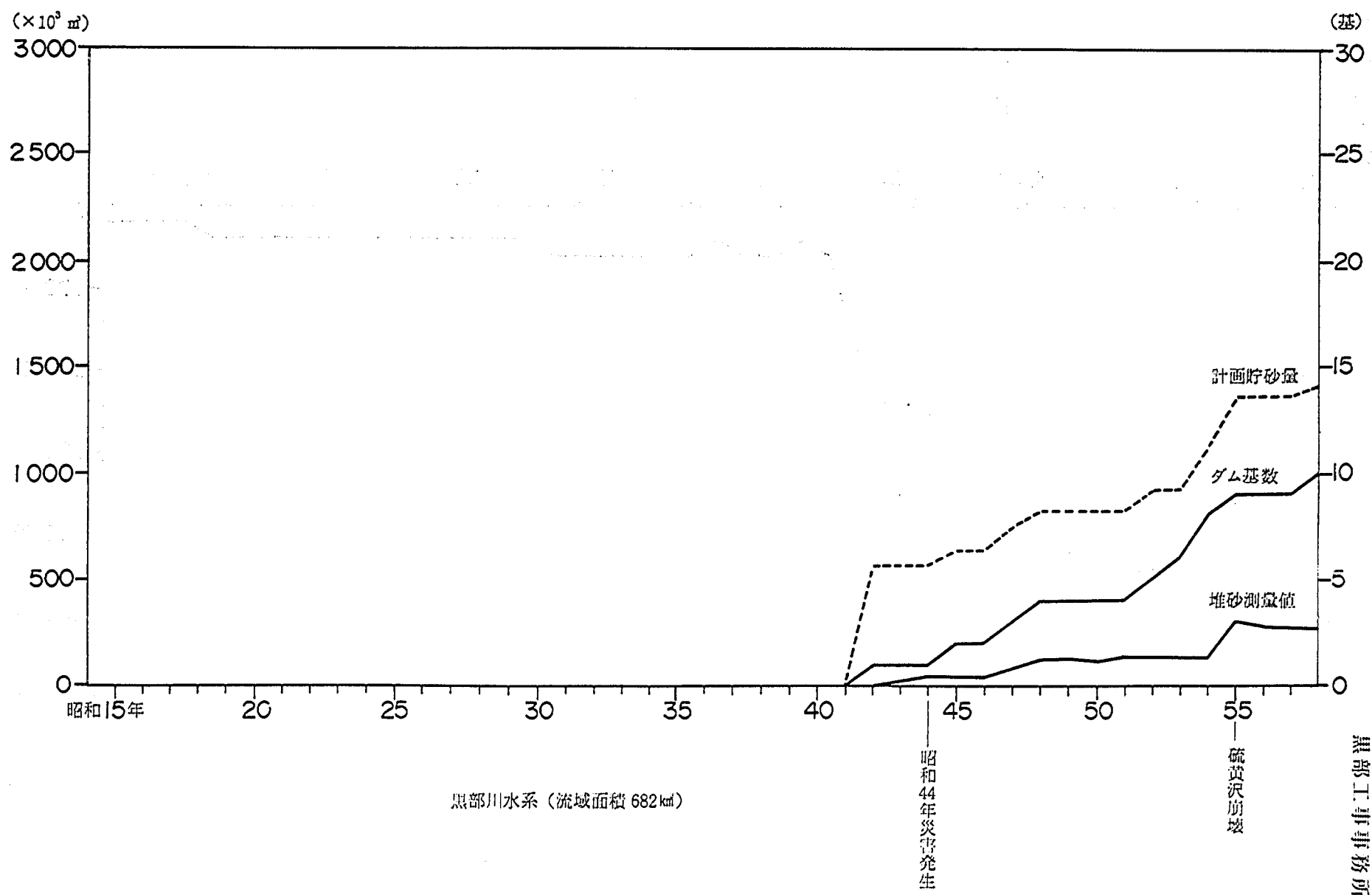


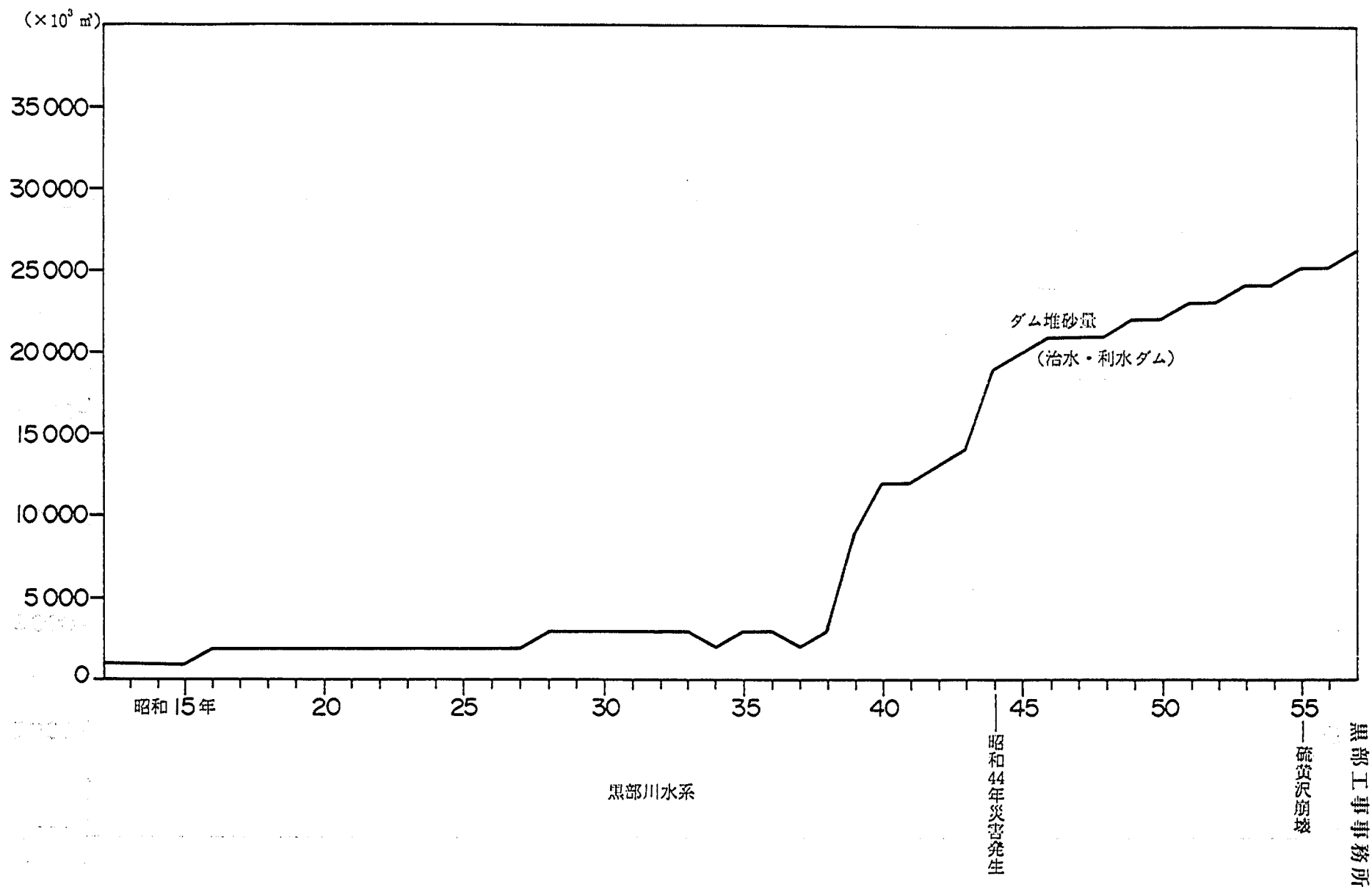
信濃川下流水系清津川 (流域面積 309.0km²)

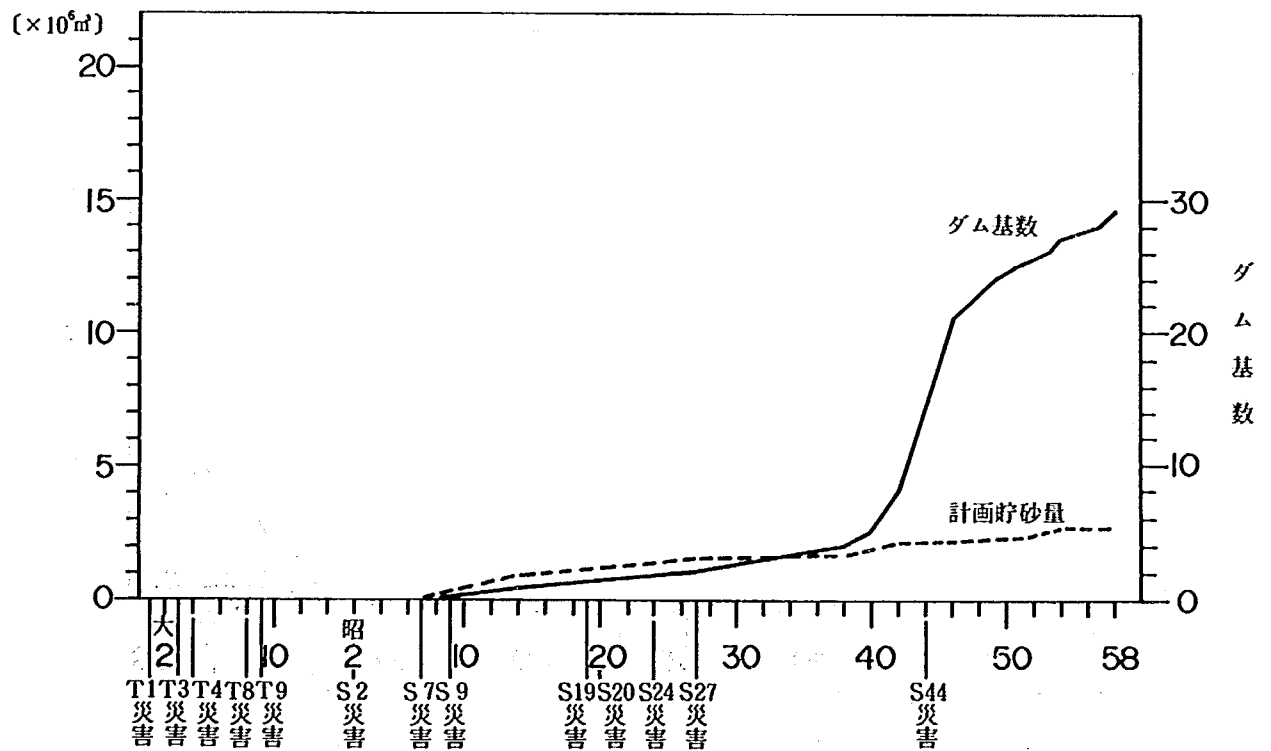
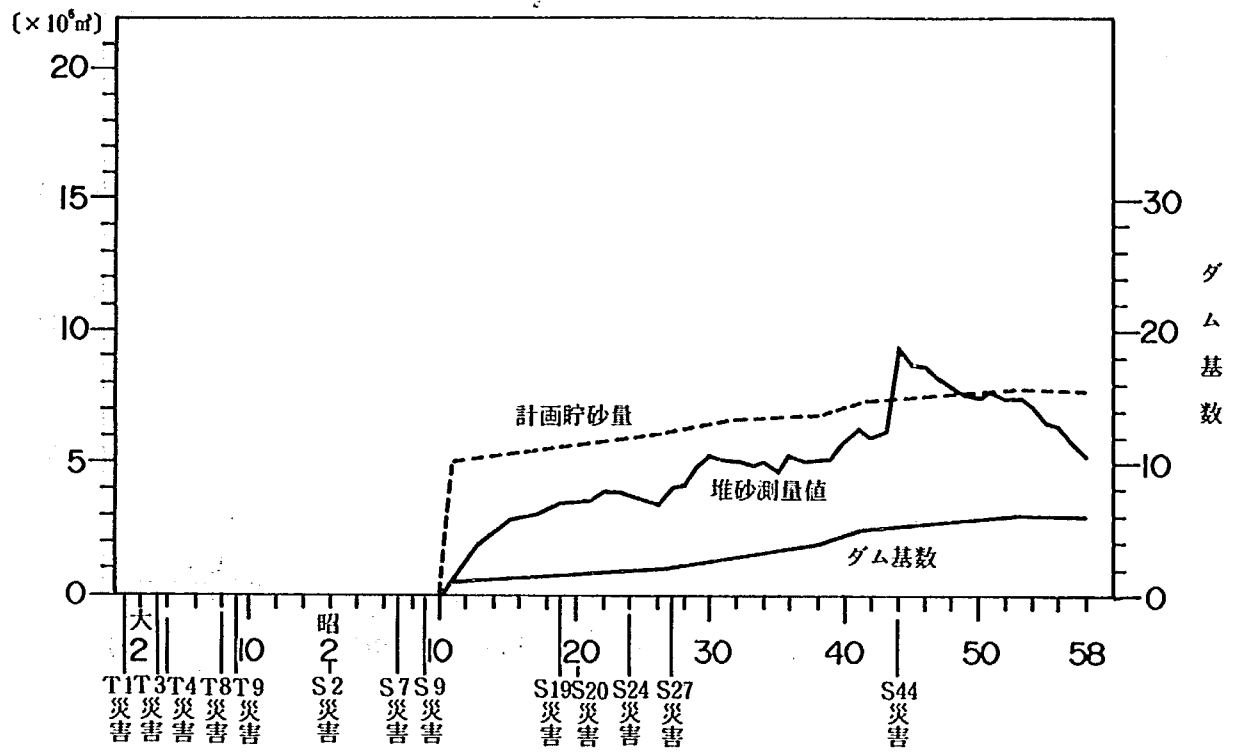


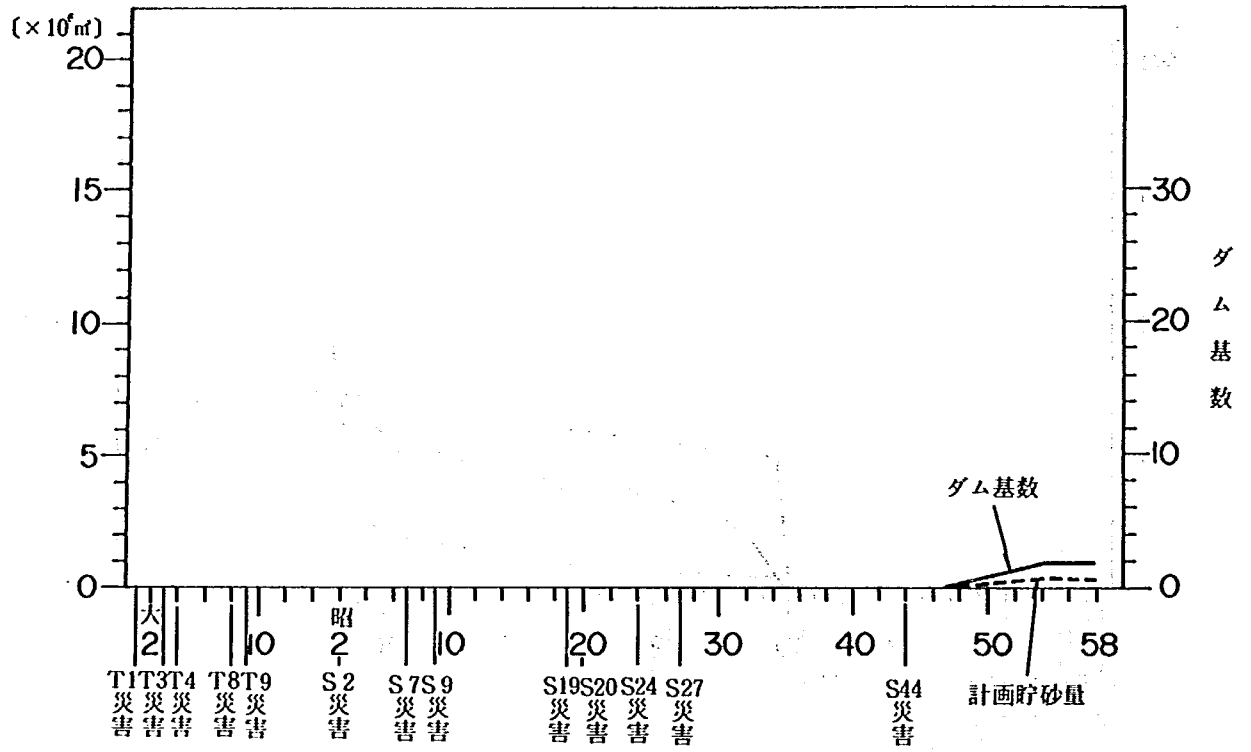
信濃川下流水系中津川 (流域面積 329.6 km^2)



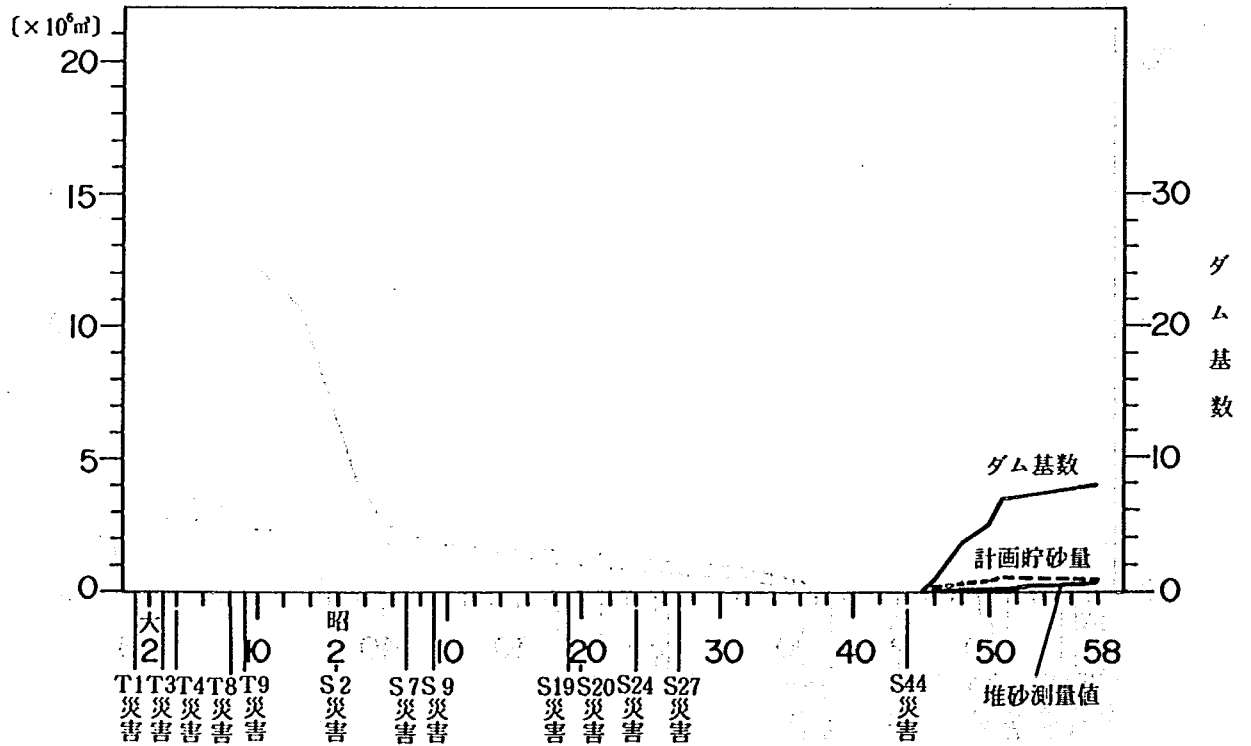




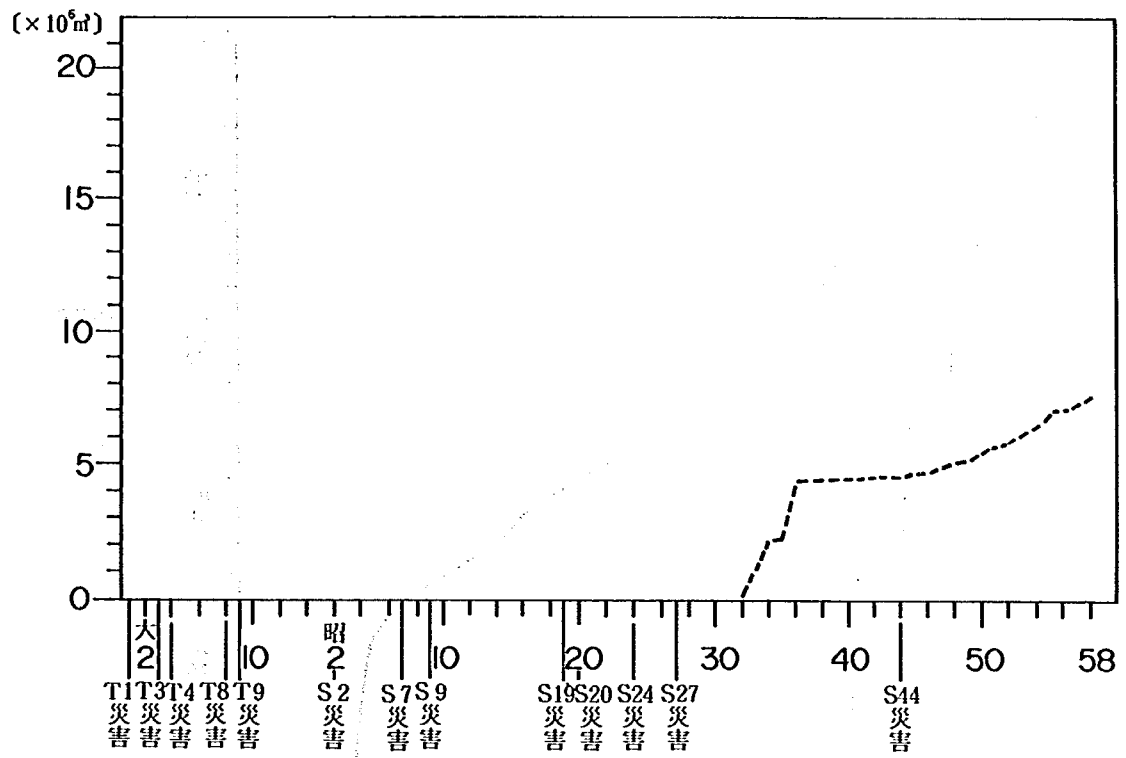




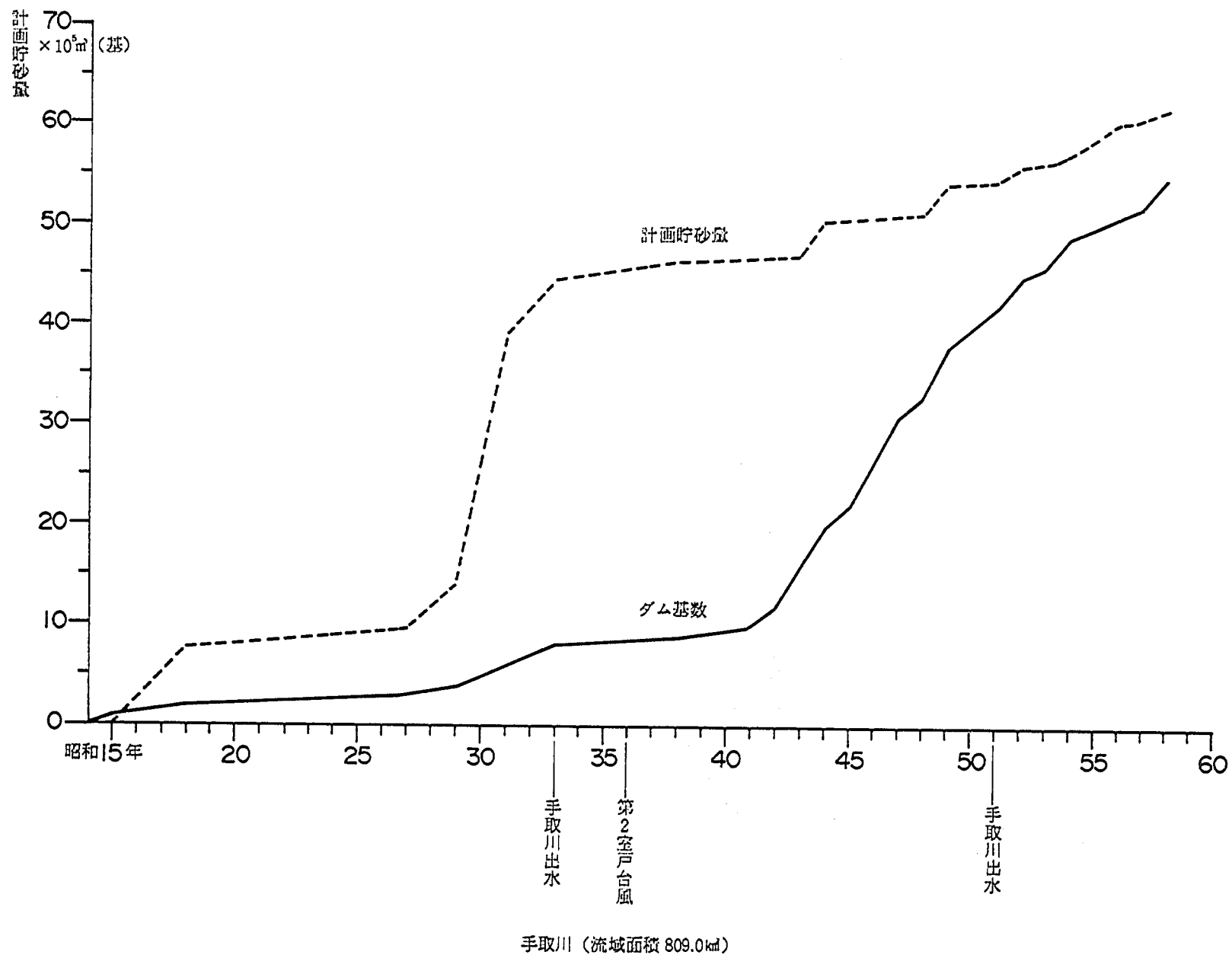
真川 (流域面積 79.3km²)

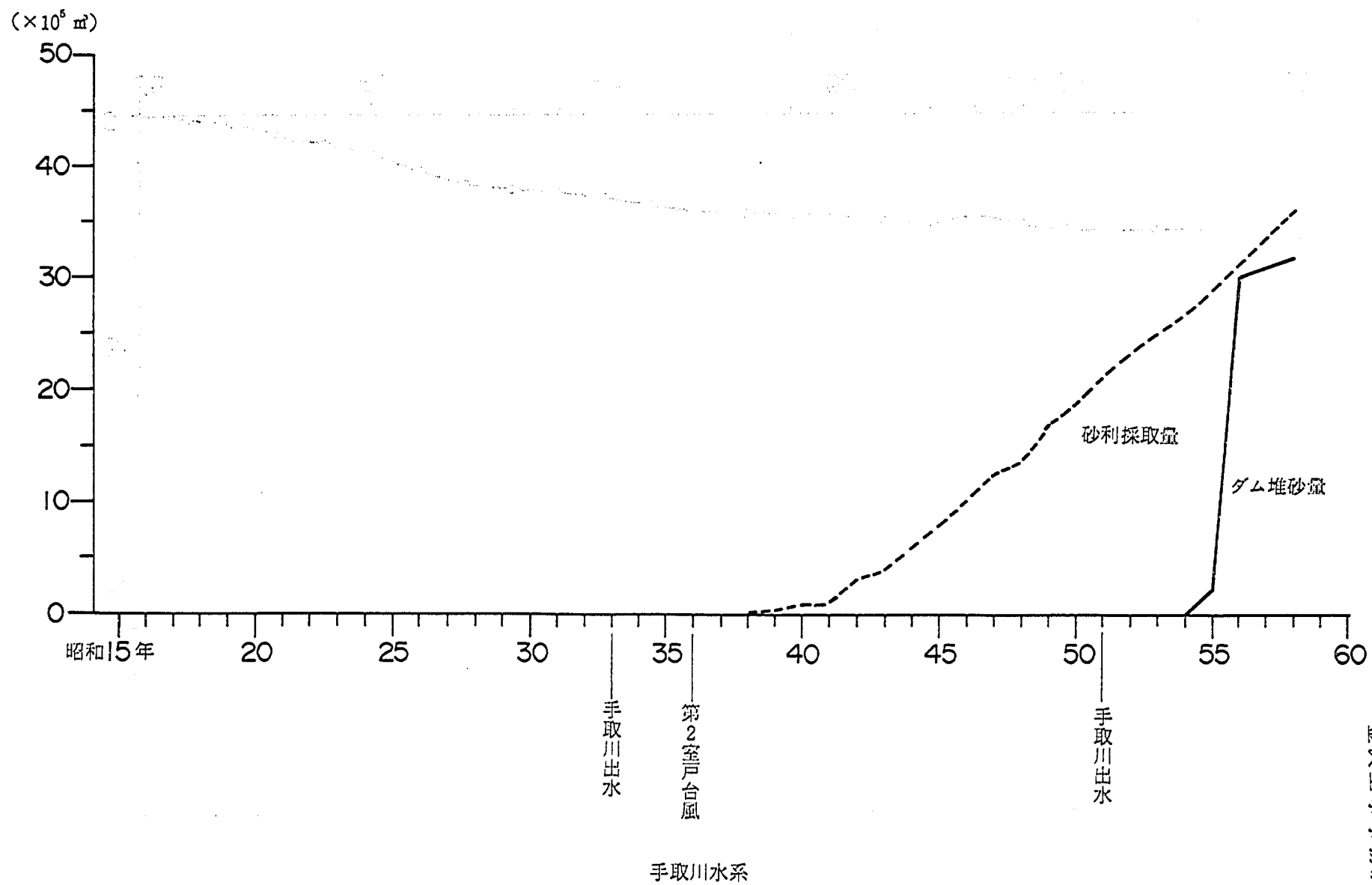


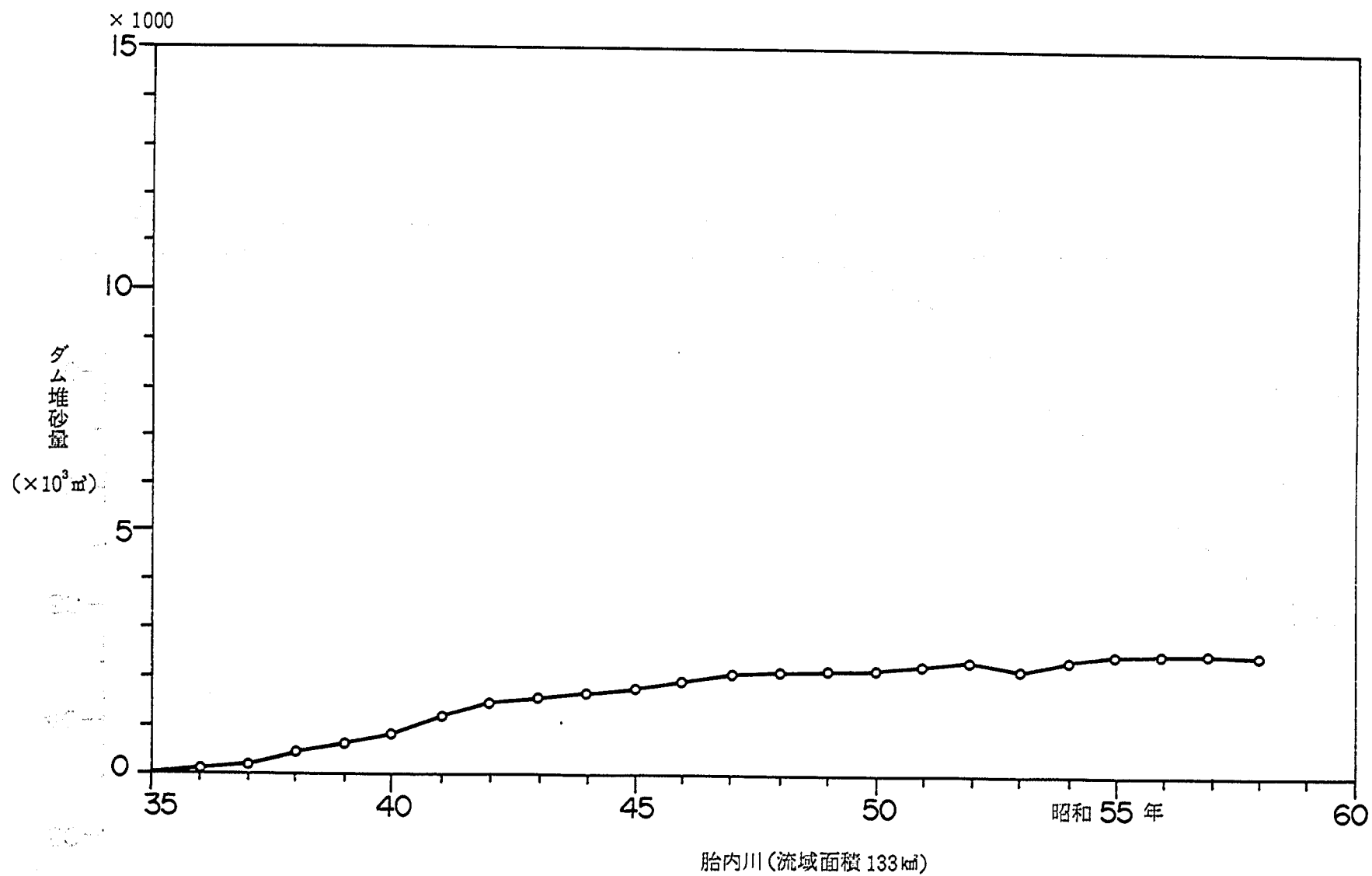
称名川 (流域面積 48.2km²)

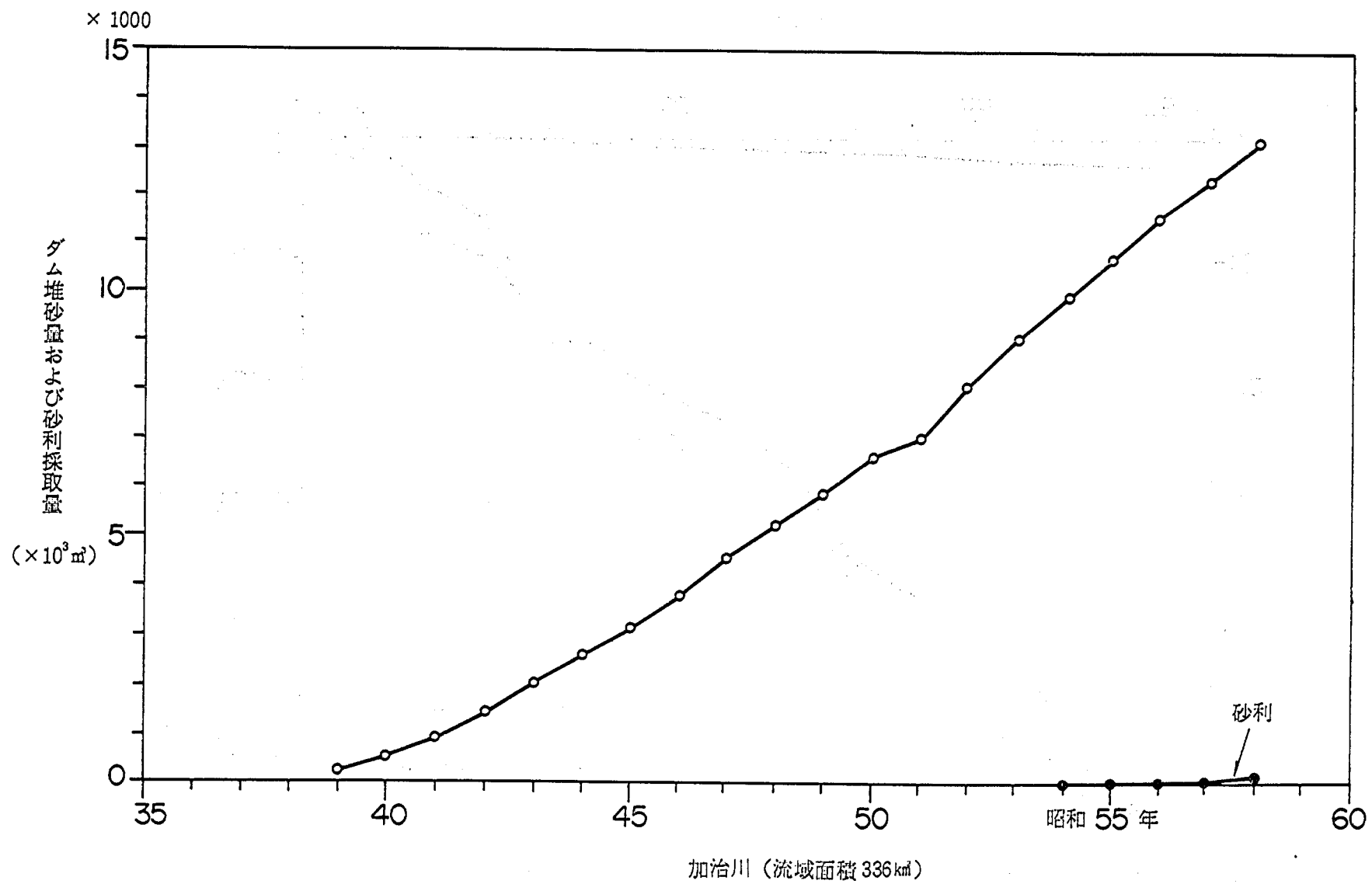


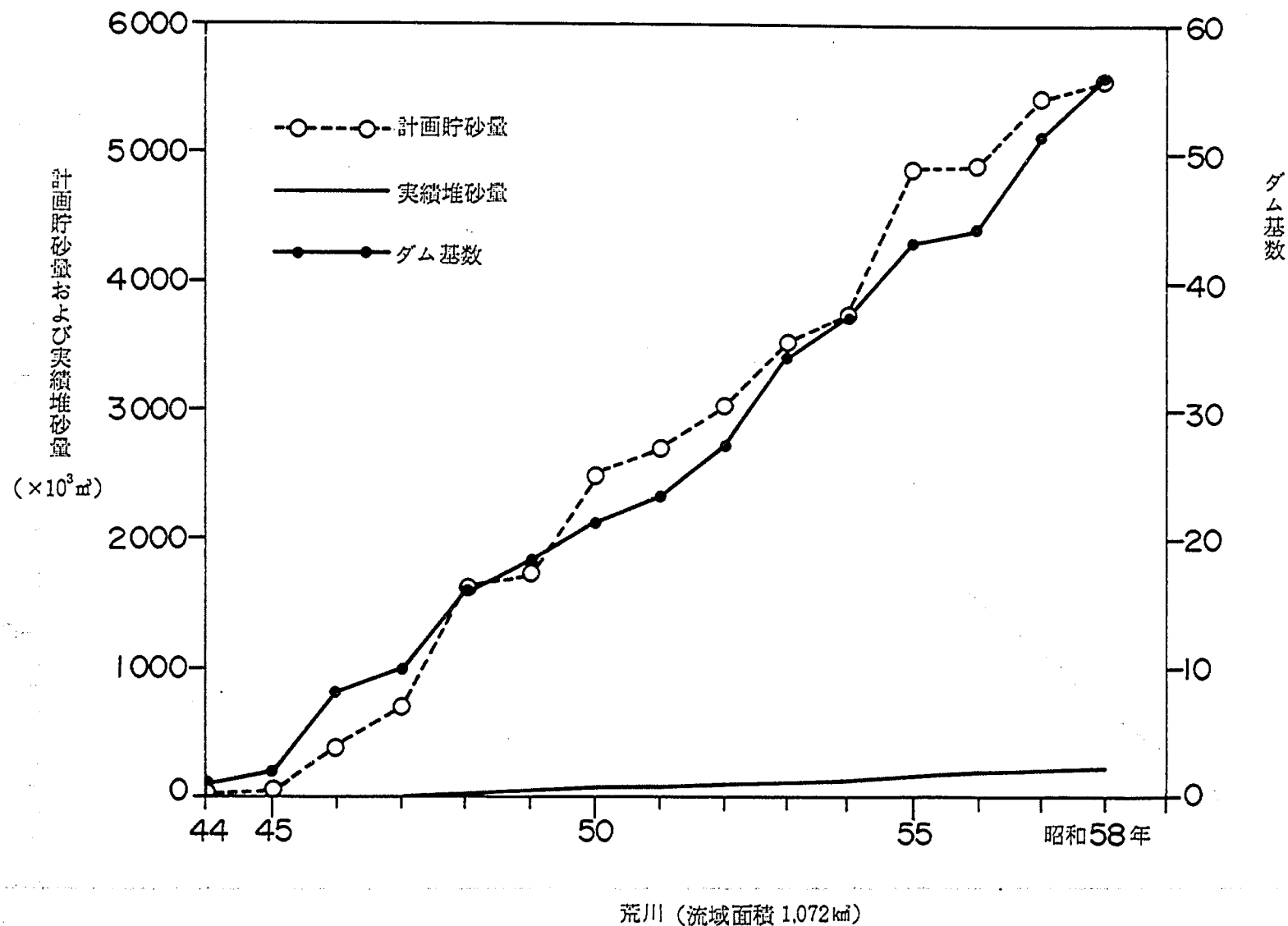
常願寺川水系 砂利採取量

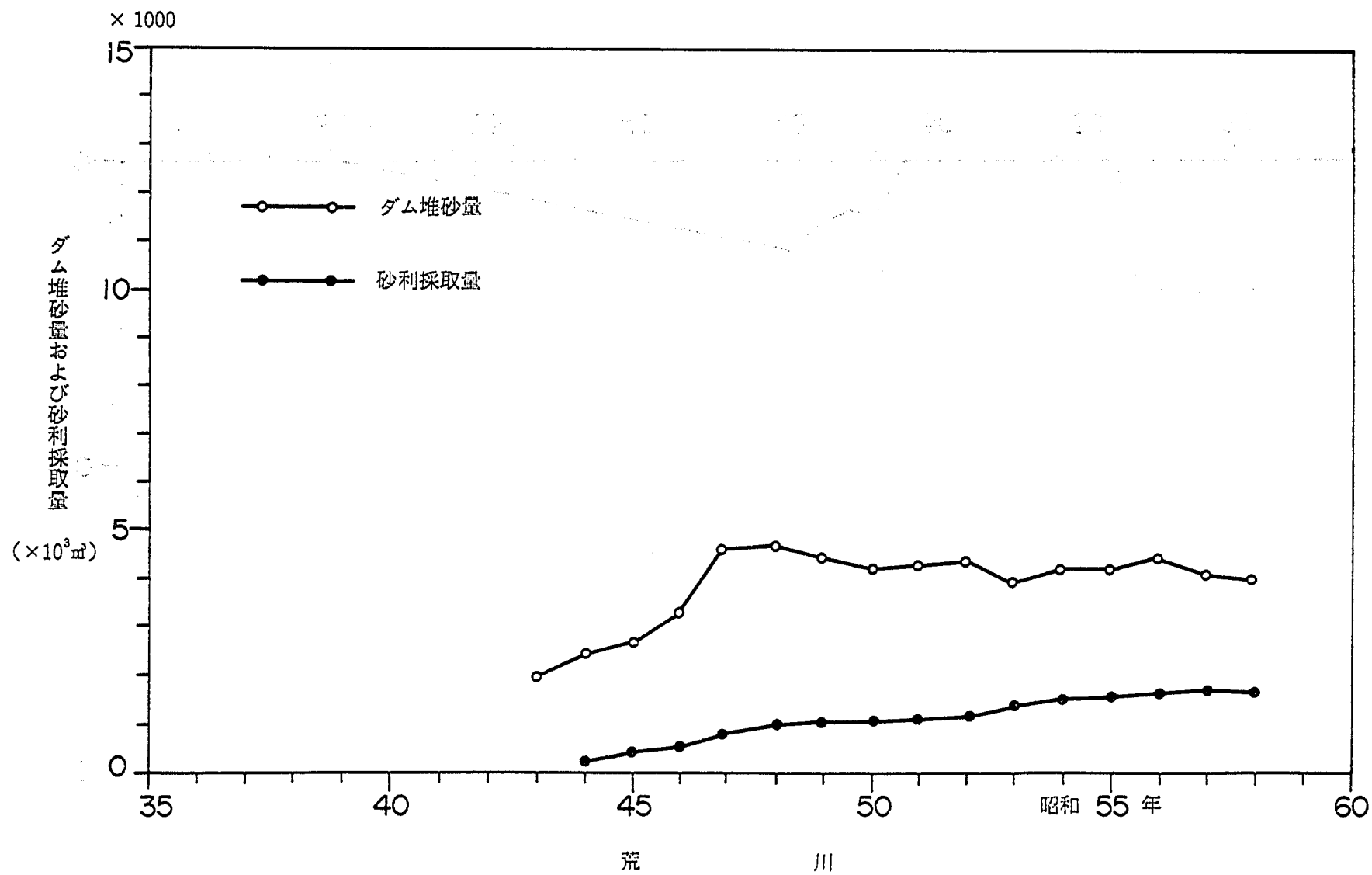


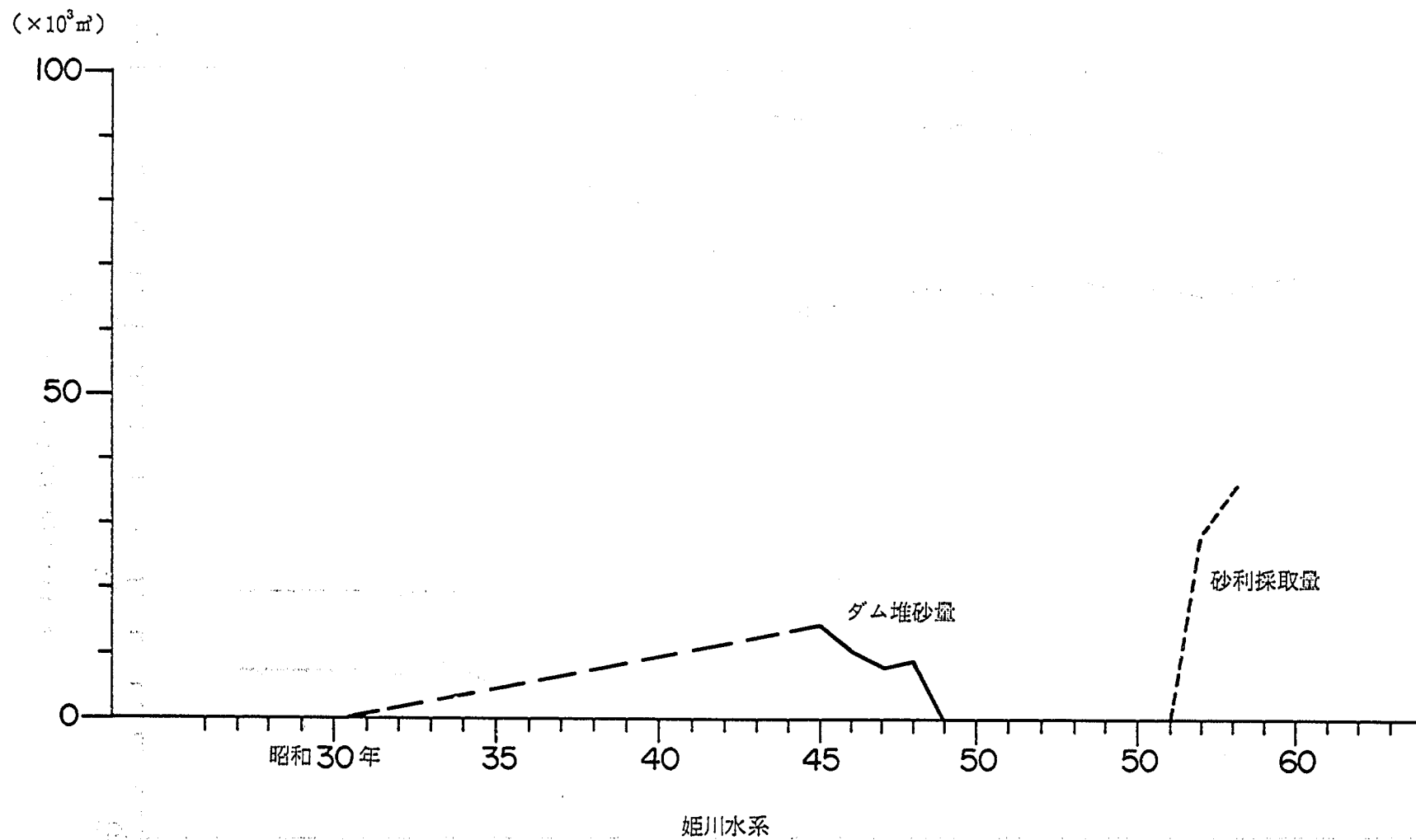


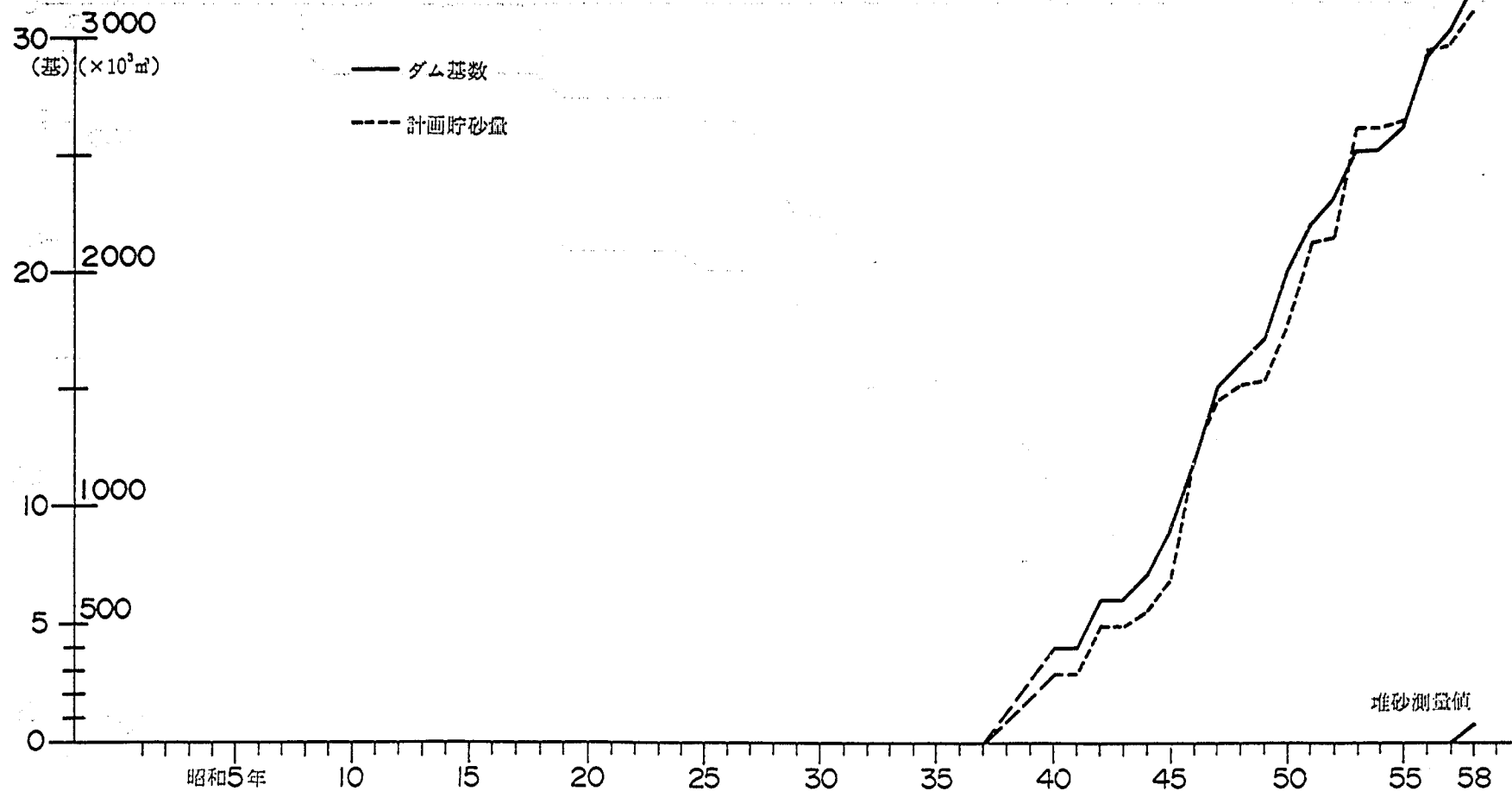




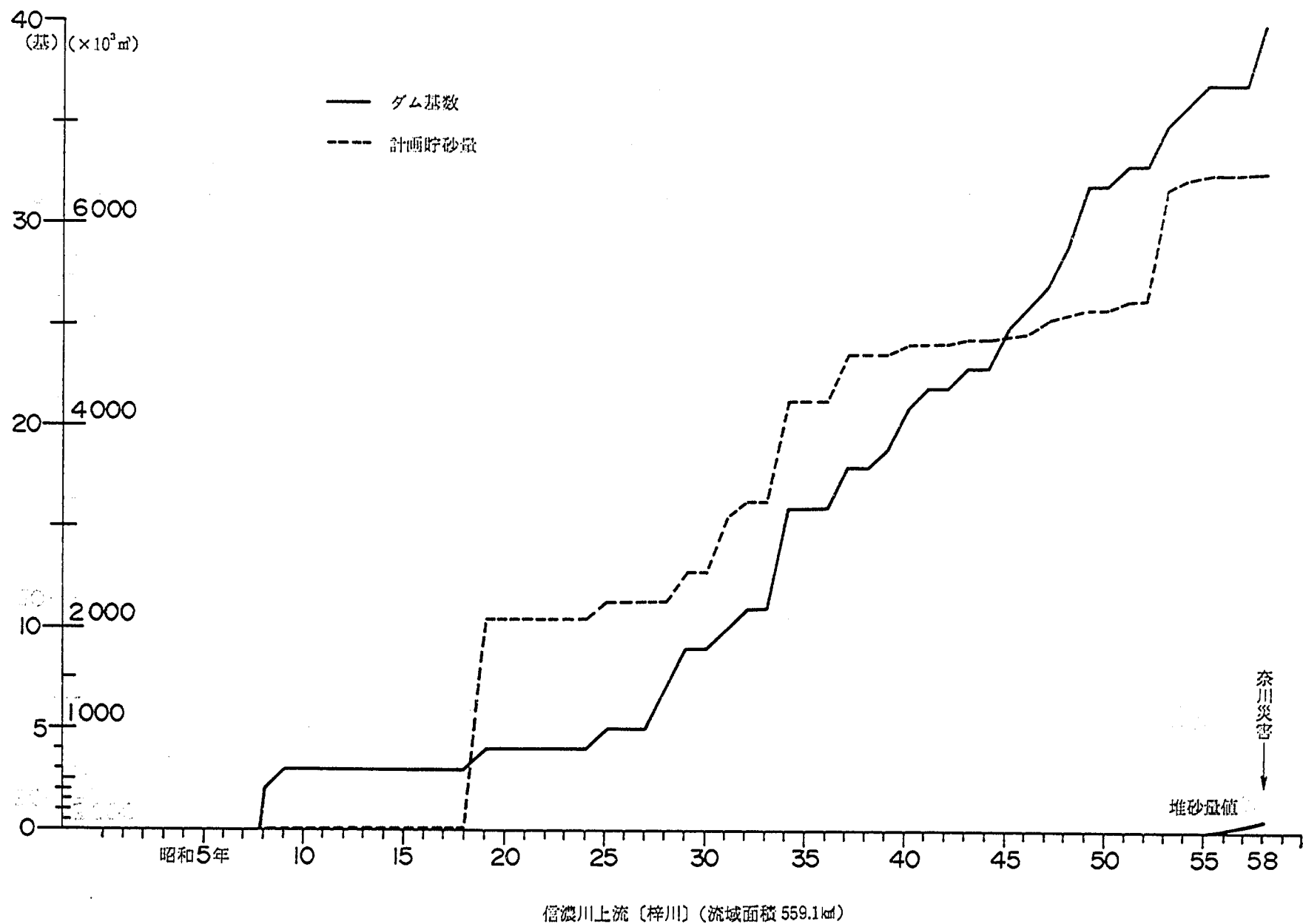


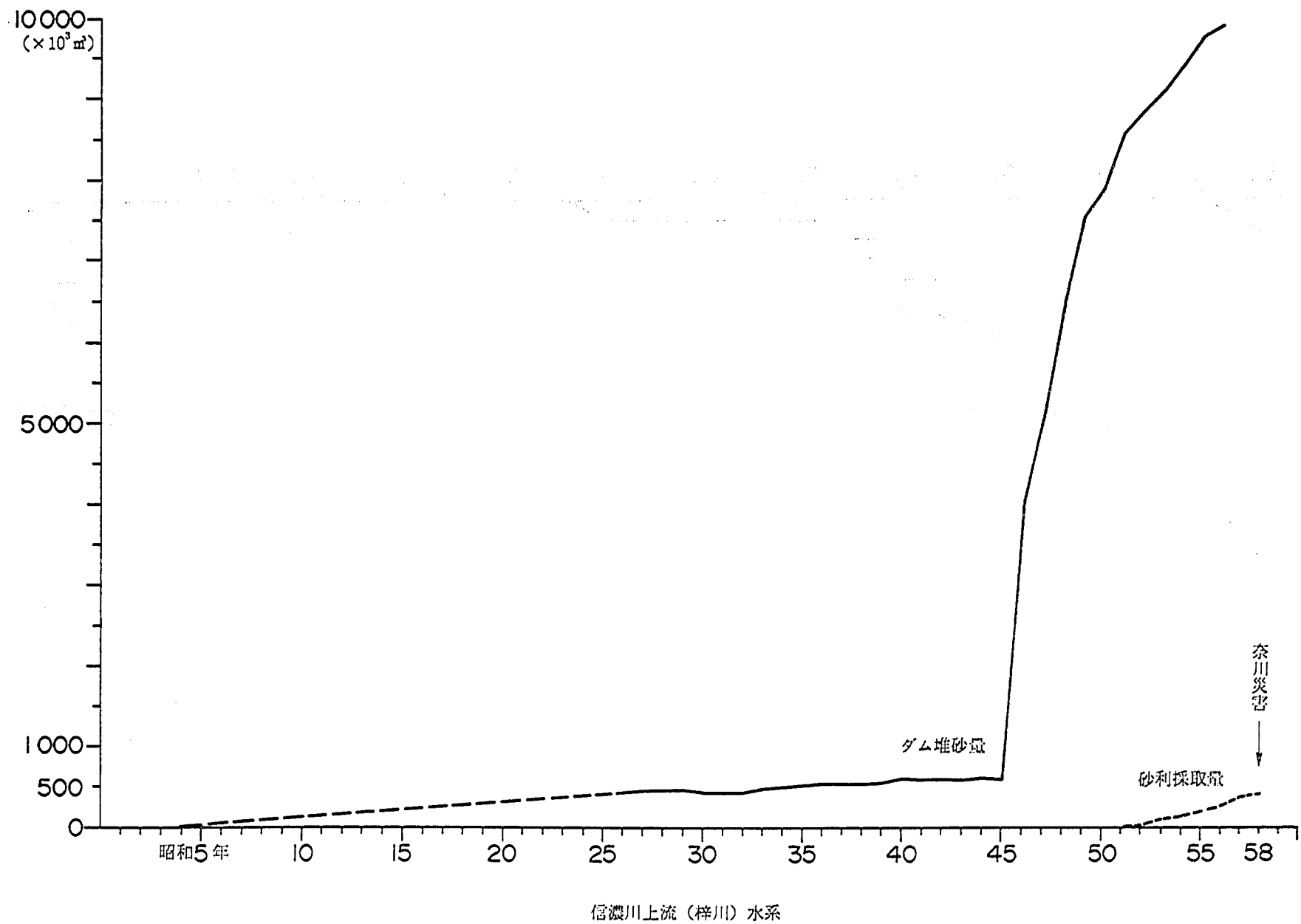


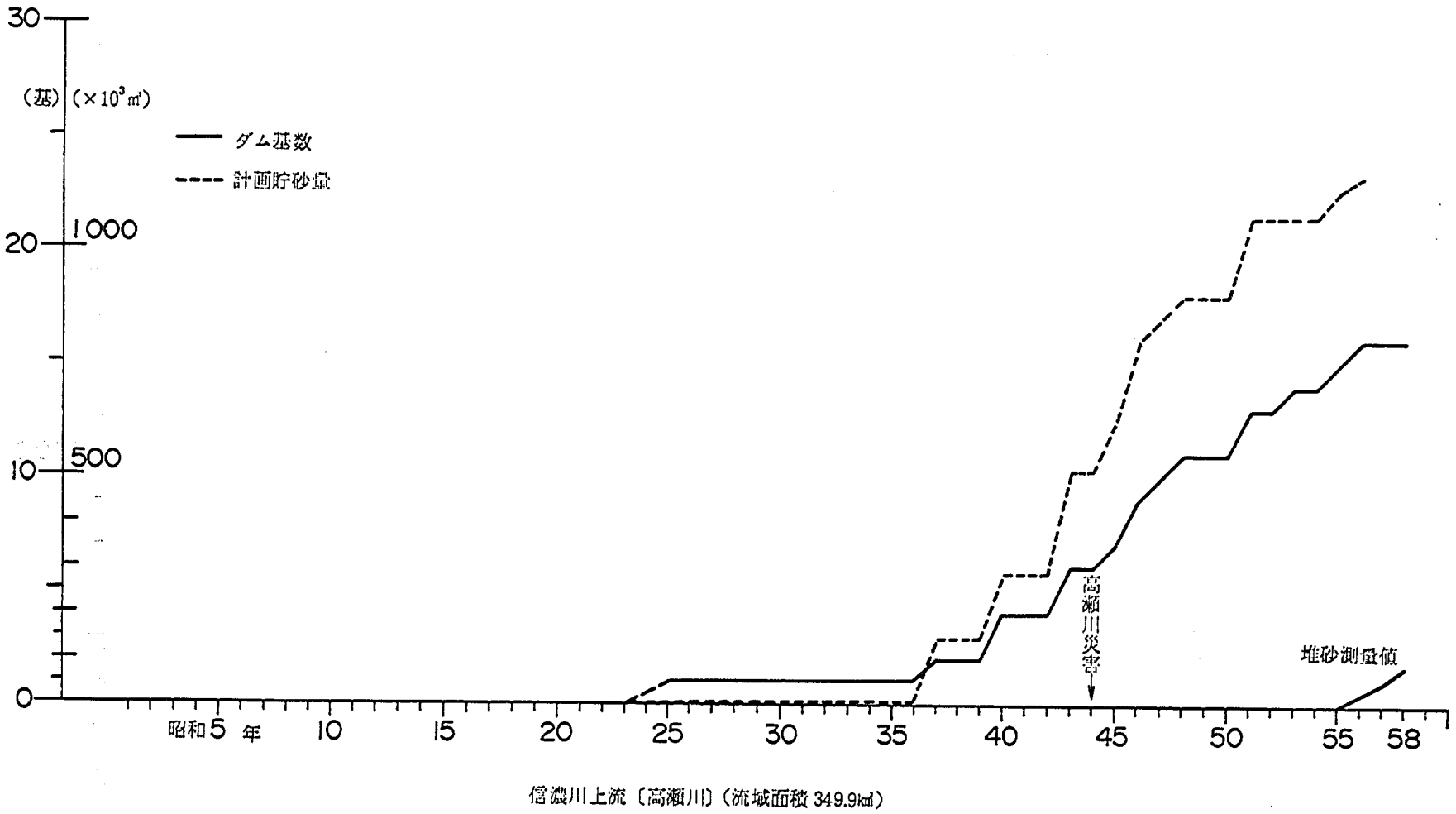


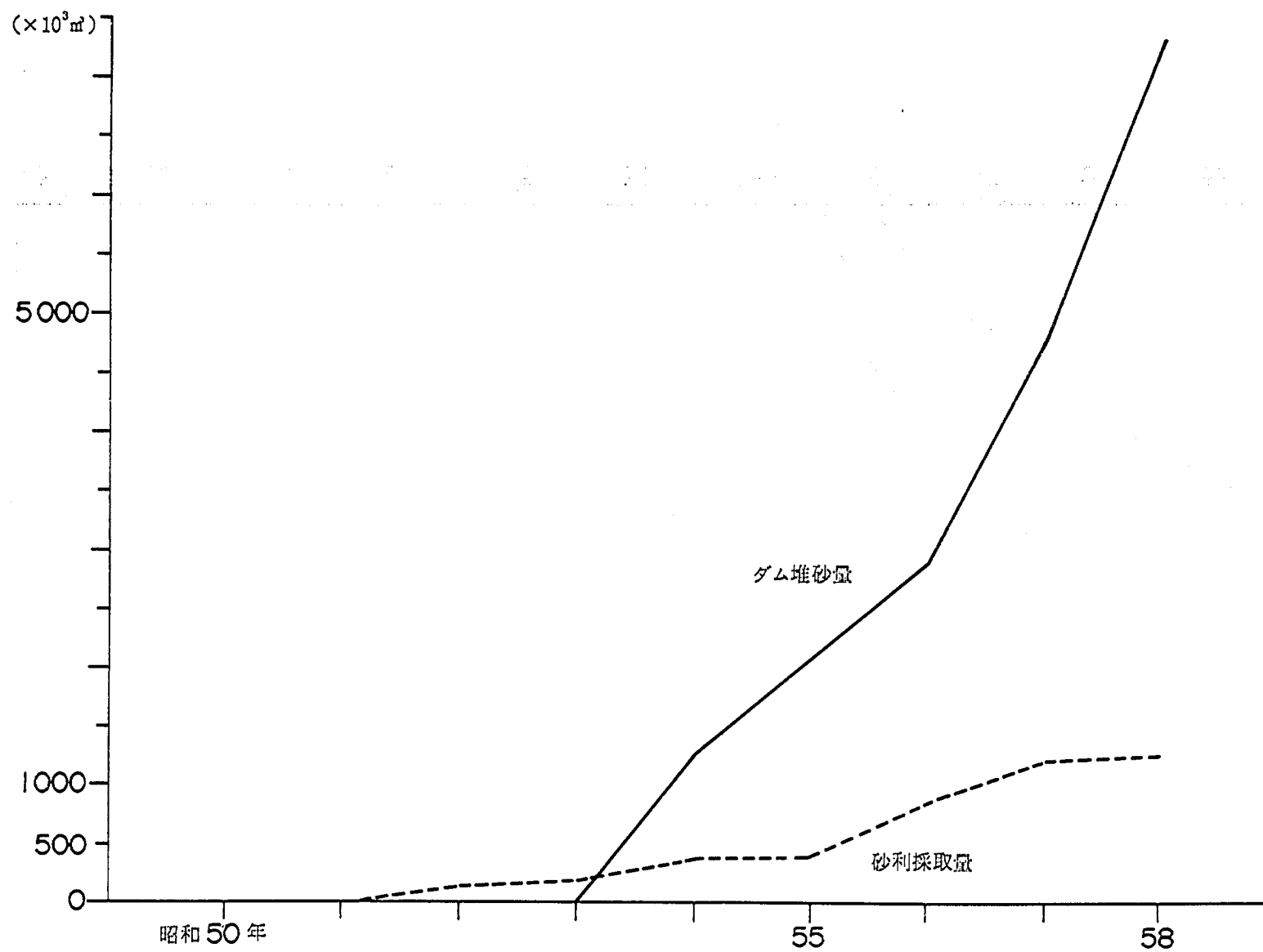


姫川 (流域面積 632.0 km²)

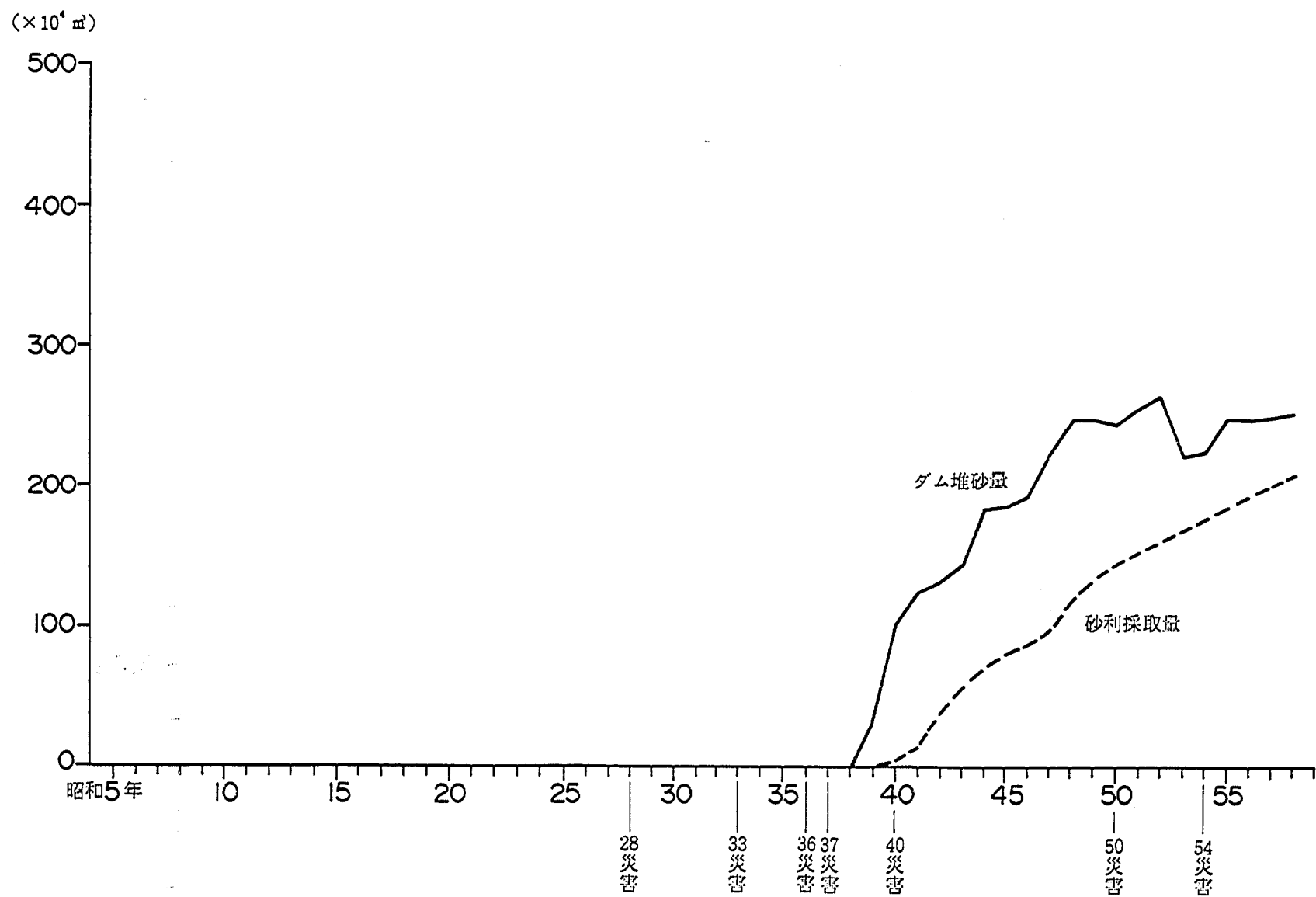






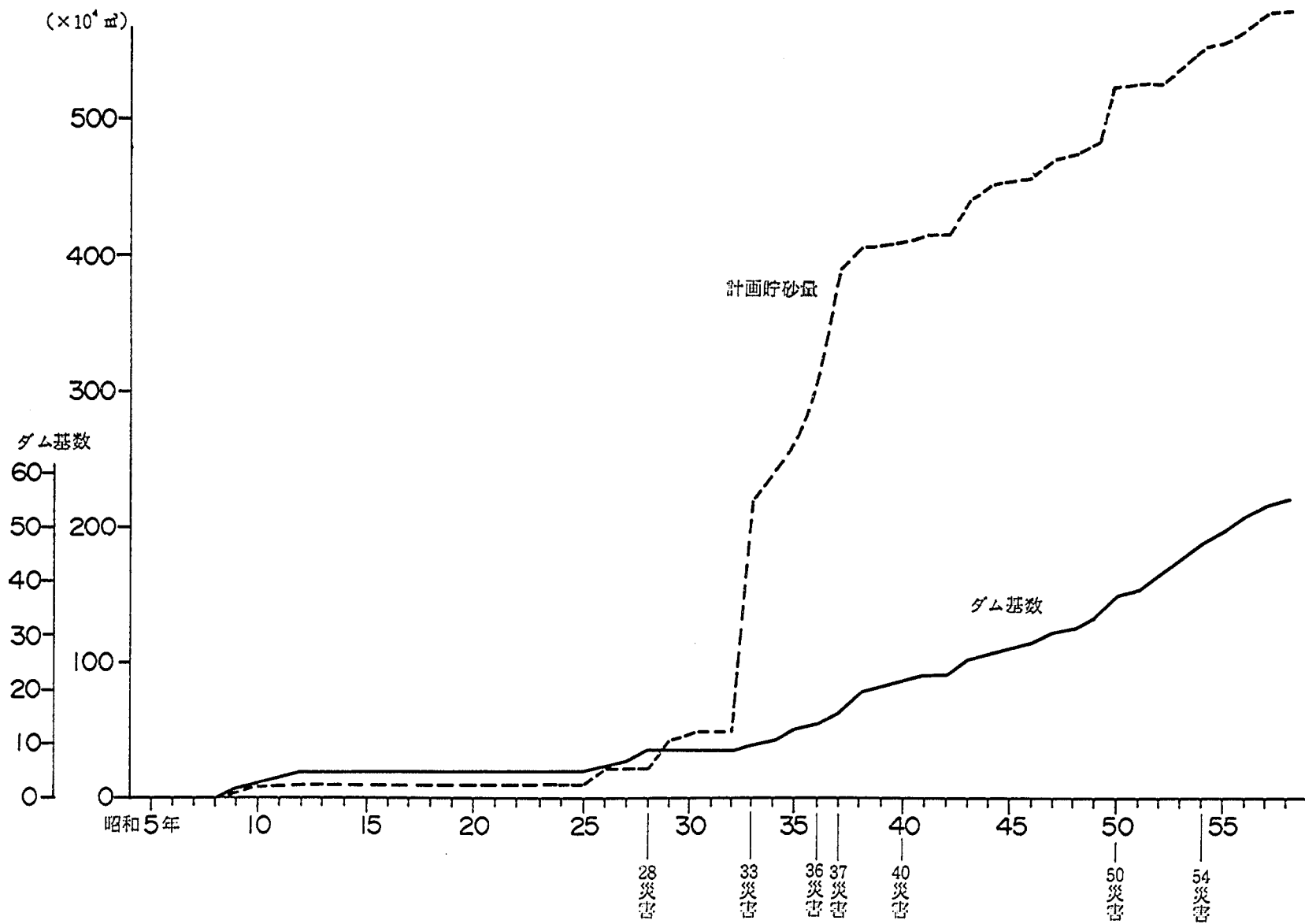


信濃川上流（高瀬川）水系



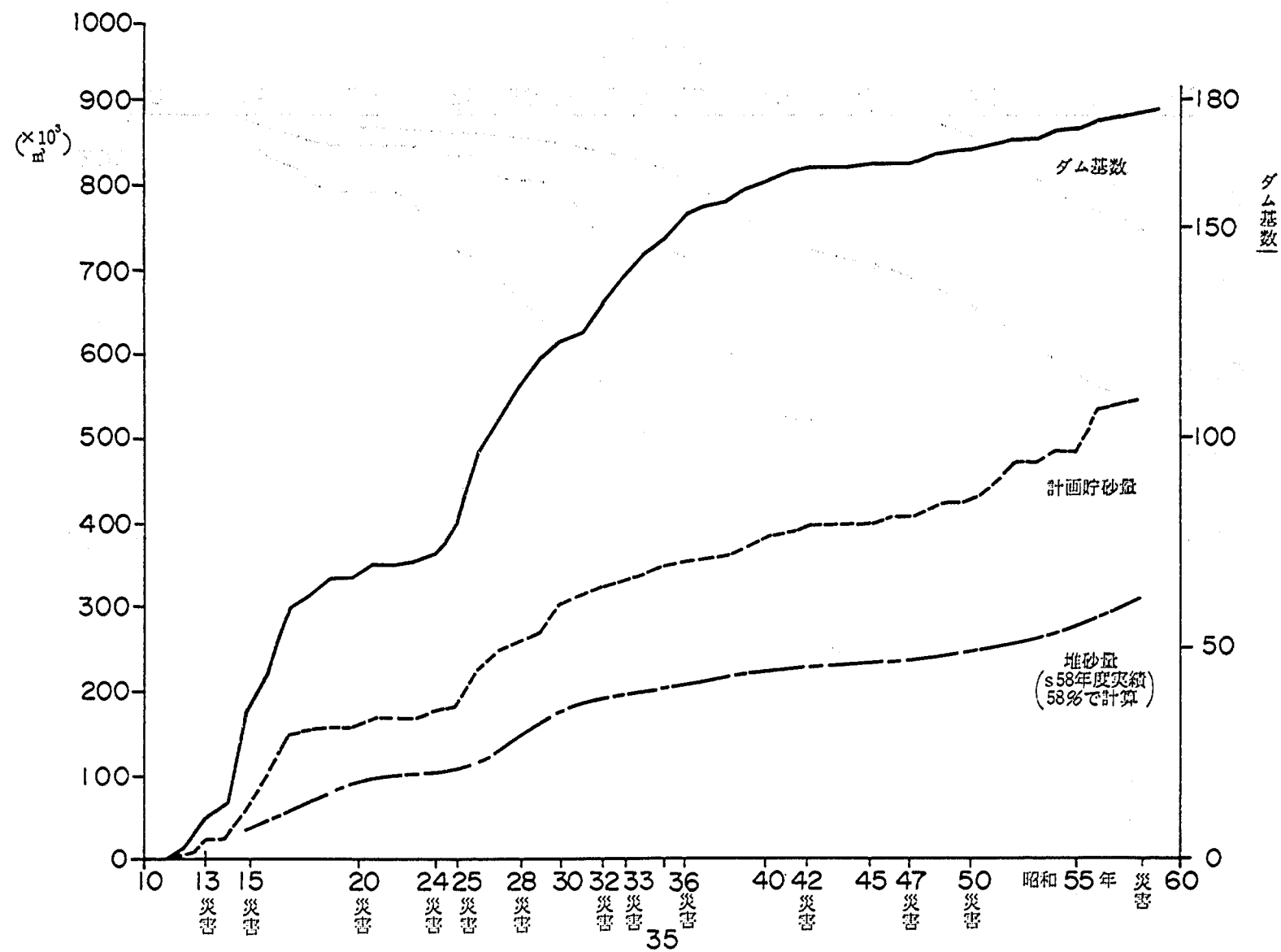
神通川水系

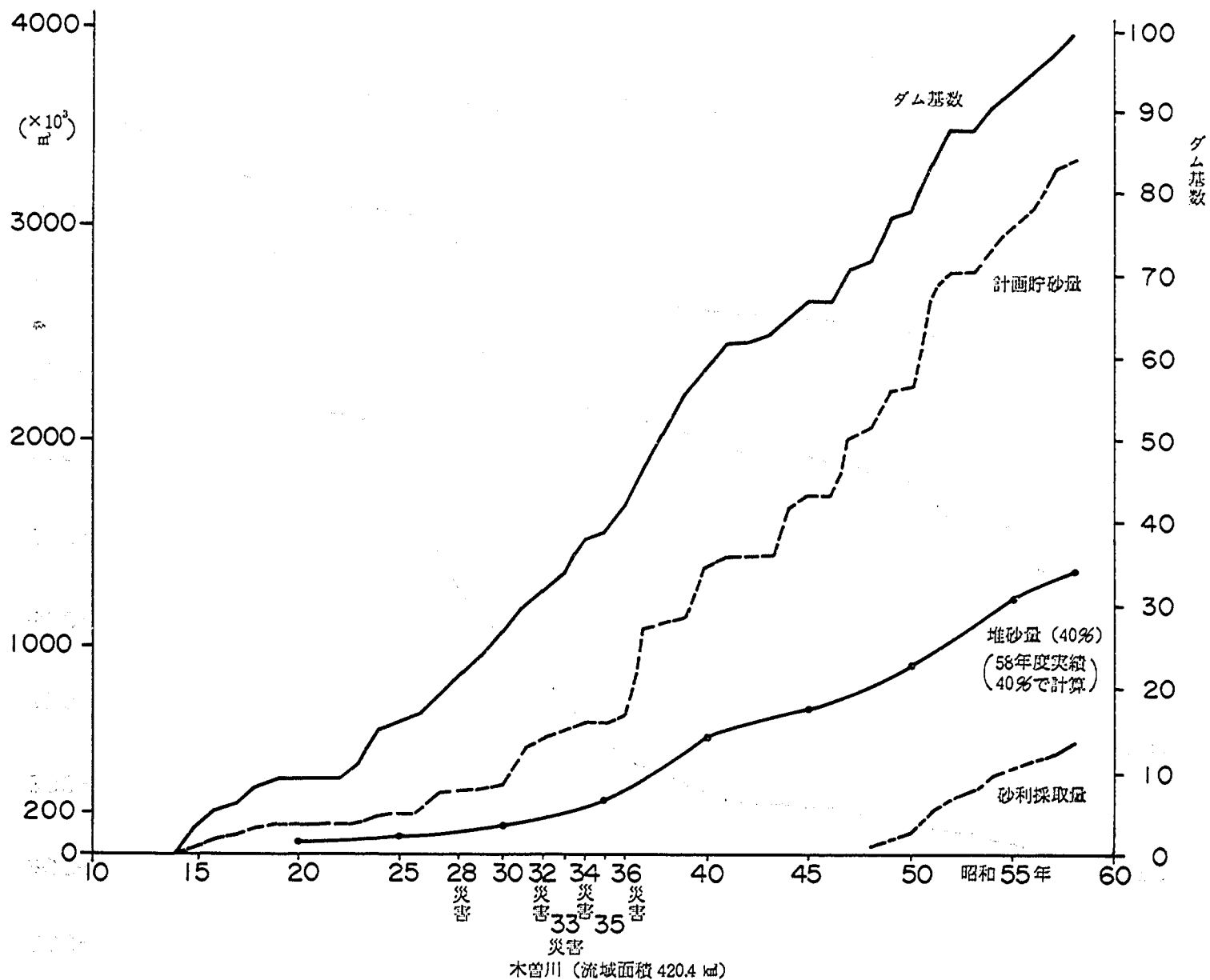
神通川水系砂防工事事務所

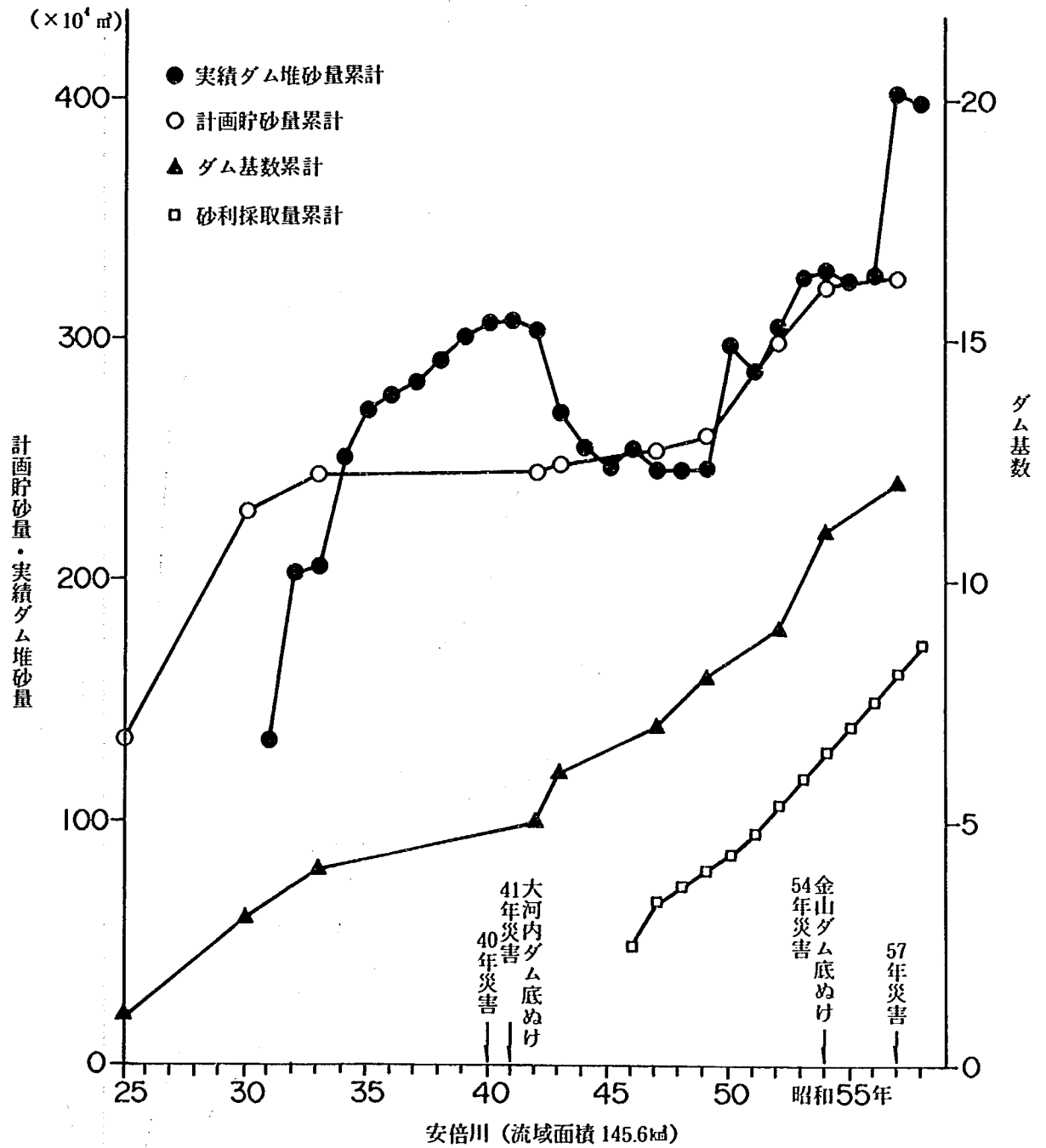


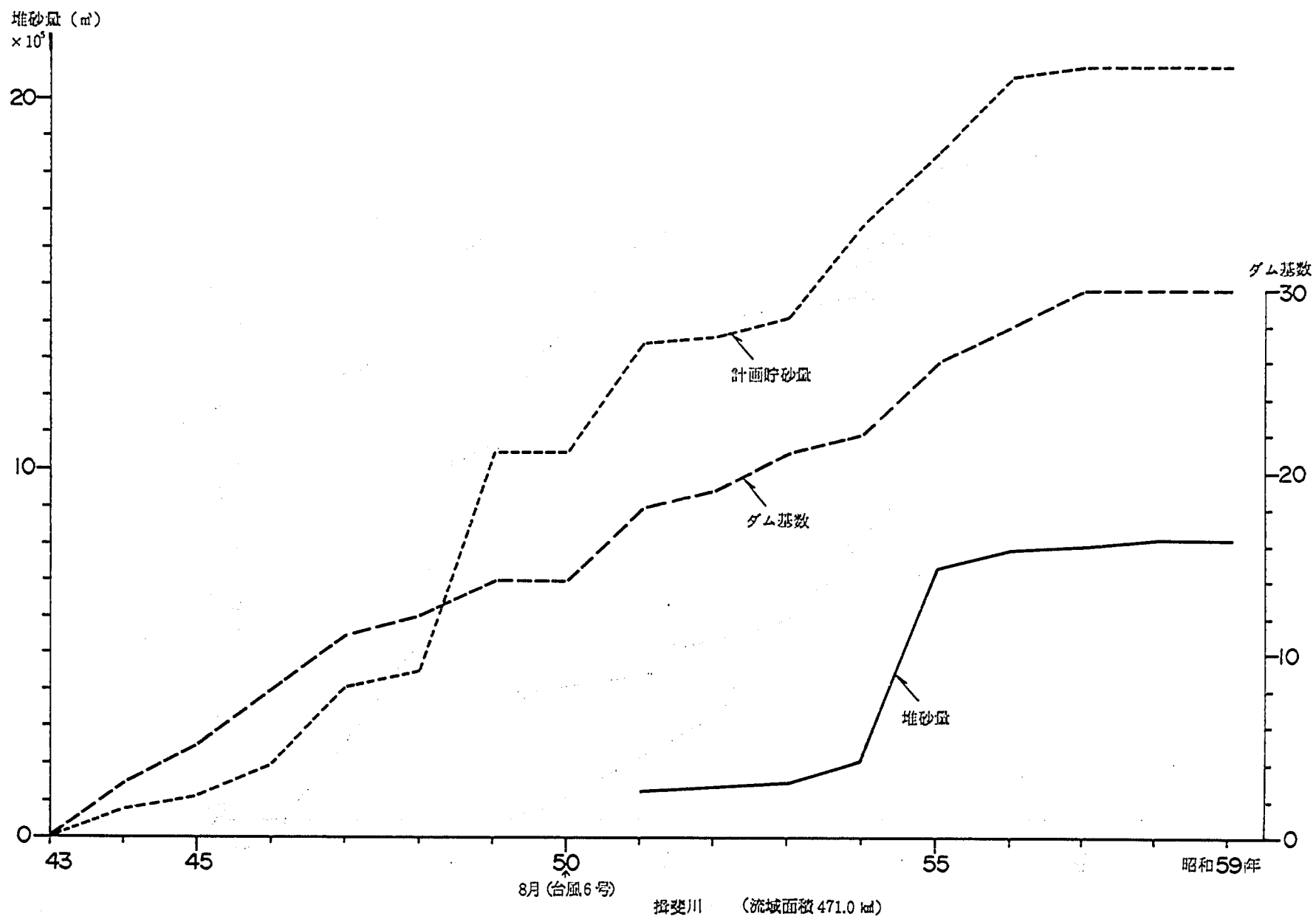
高原川 (流域面積 761.1 km²)

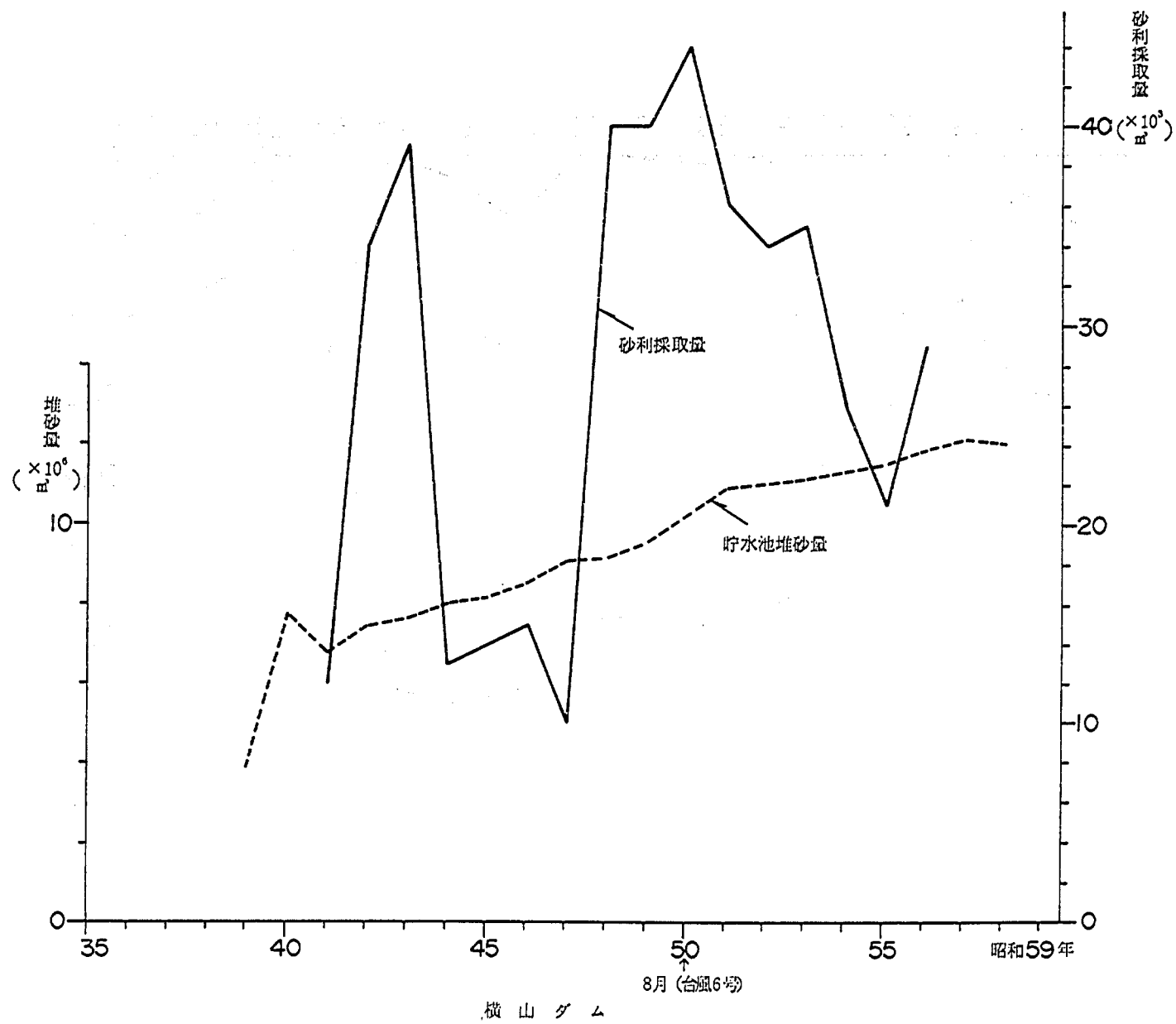
中部地方建設局





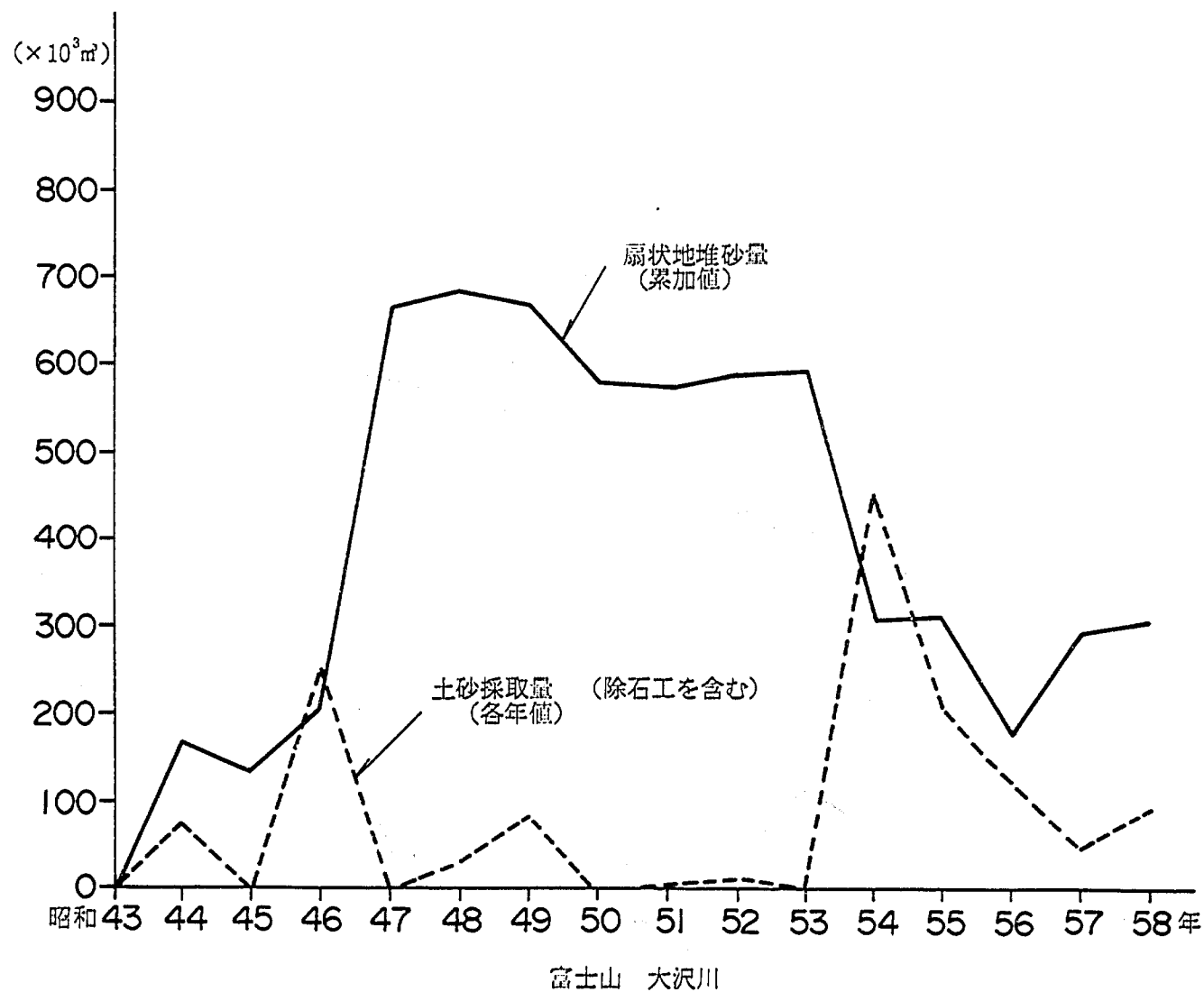


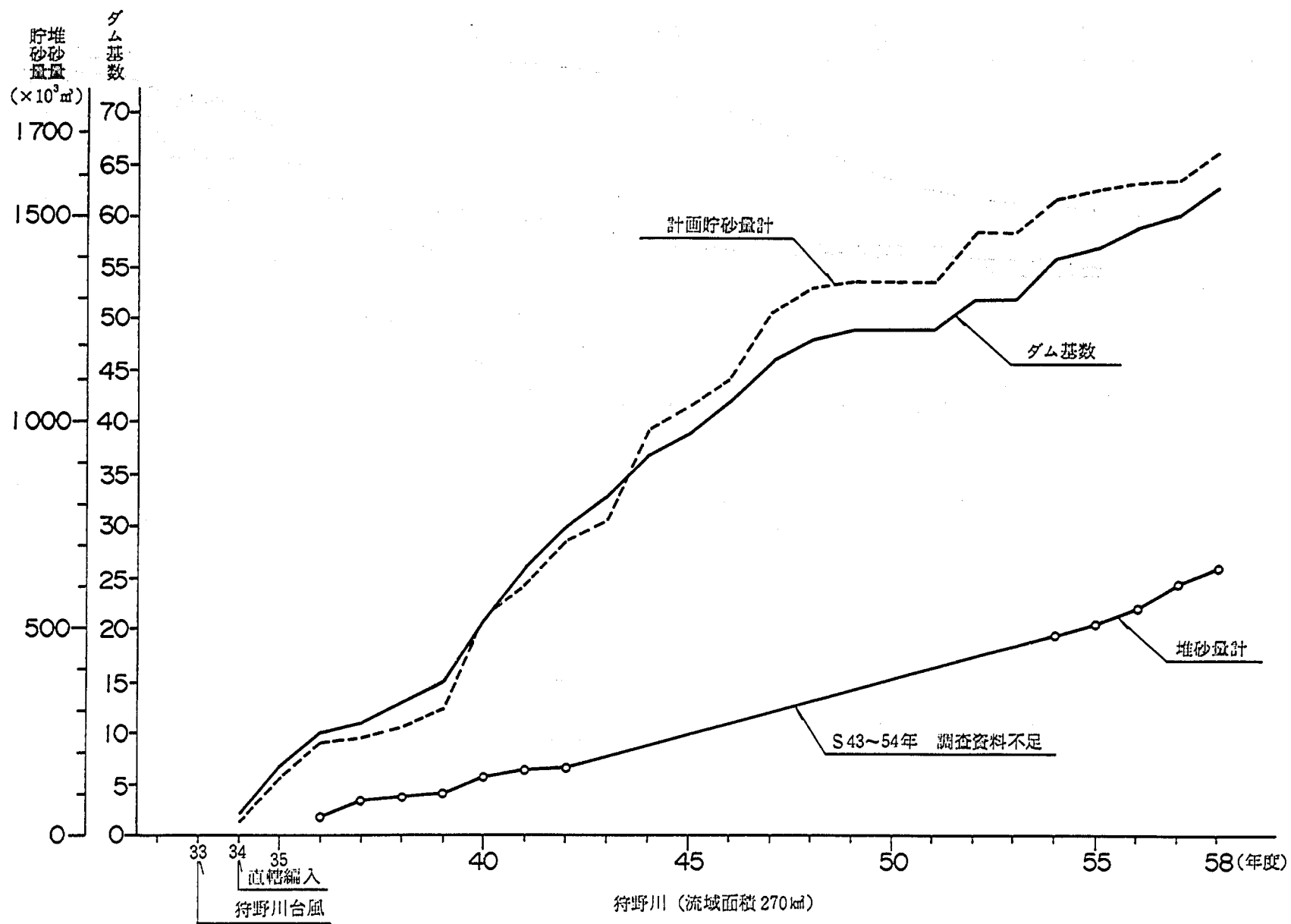


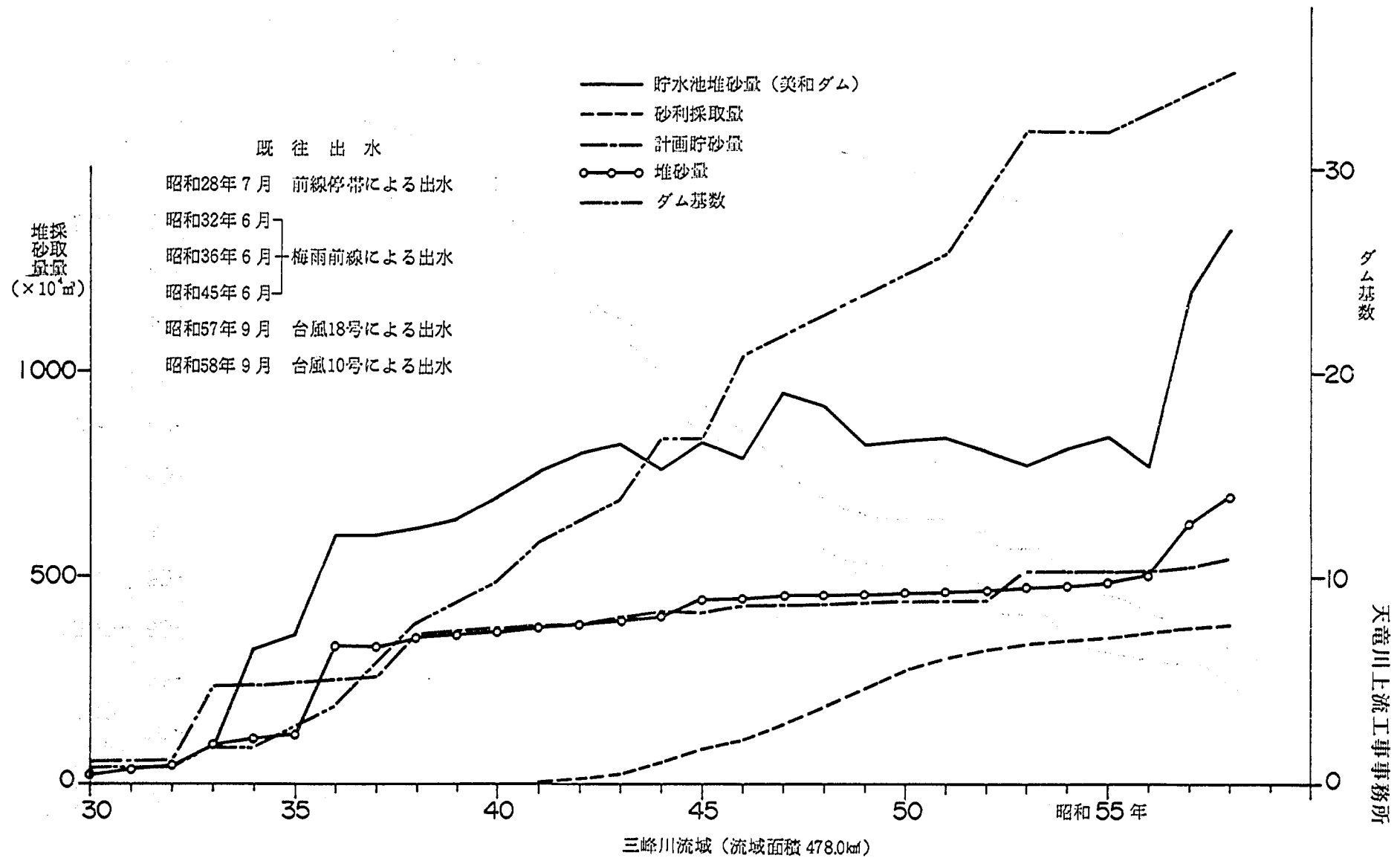


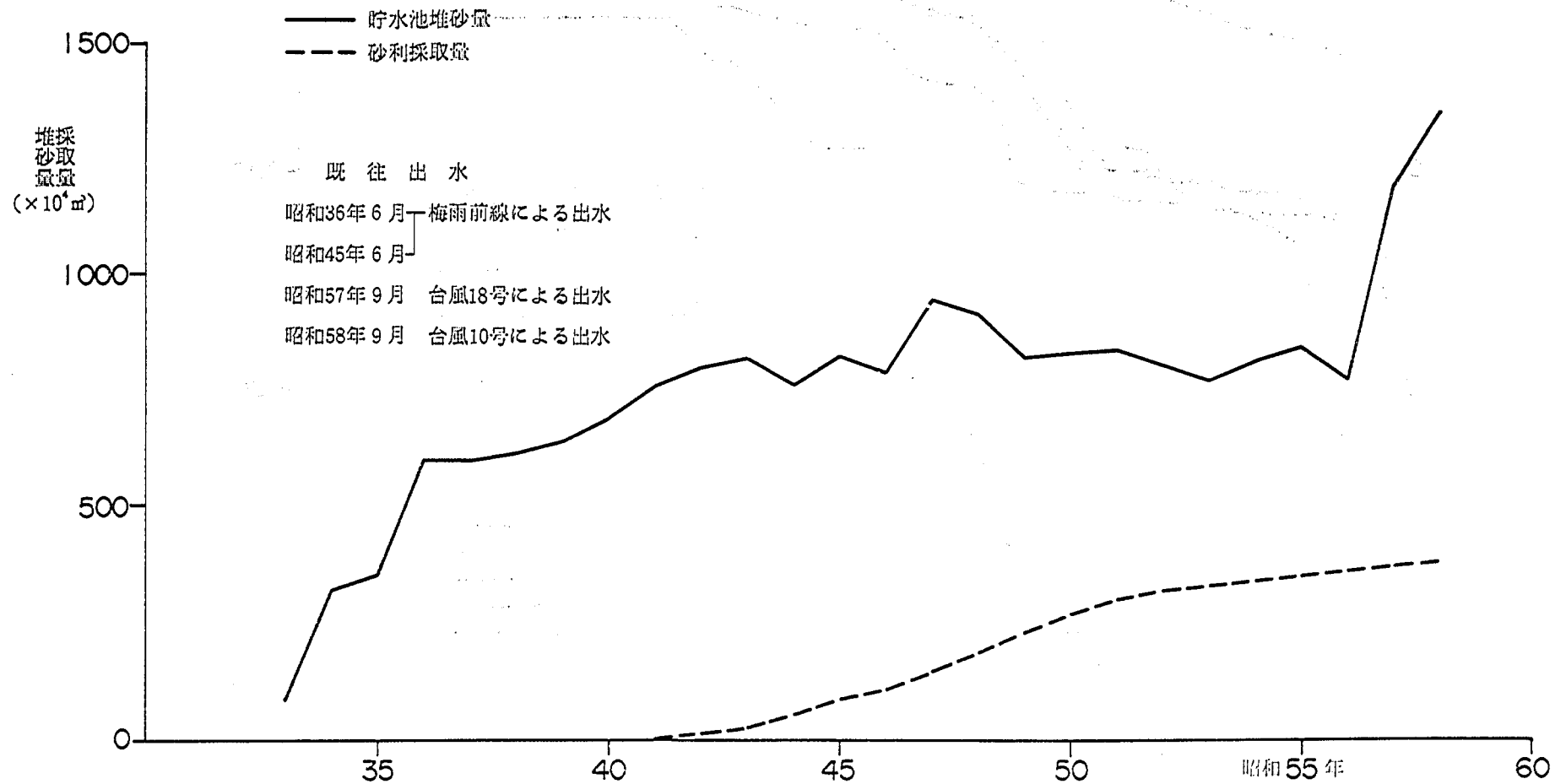
横山ダム

8月(台風6号)

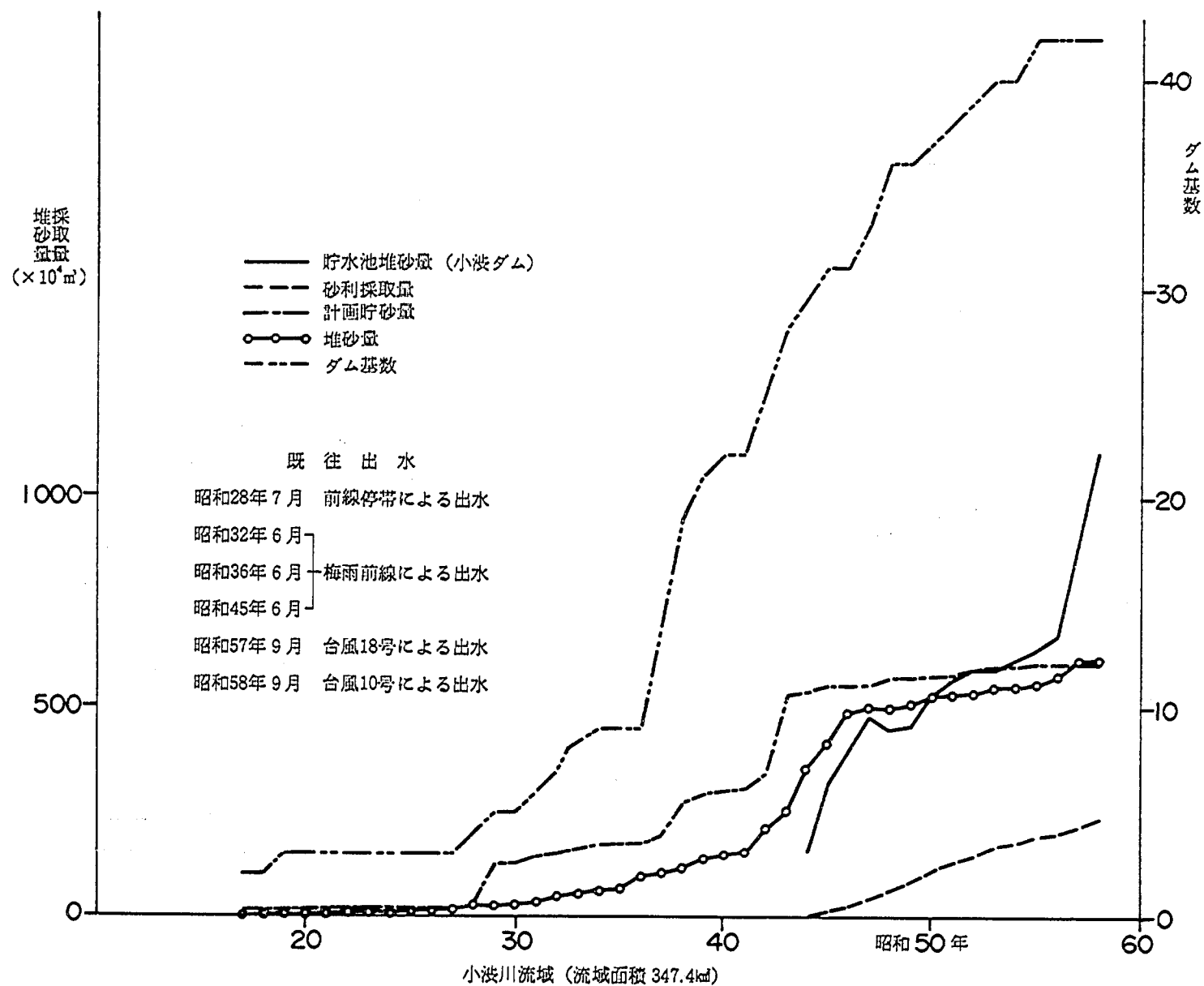


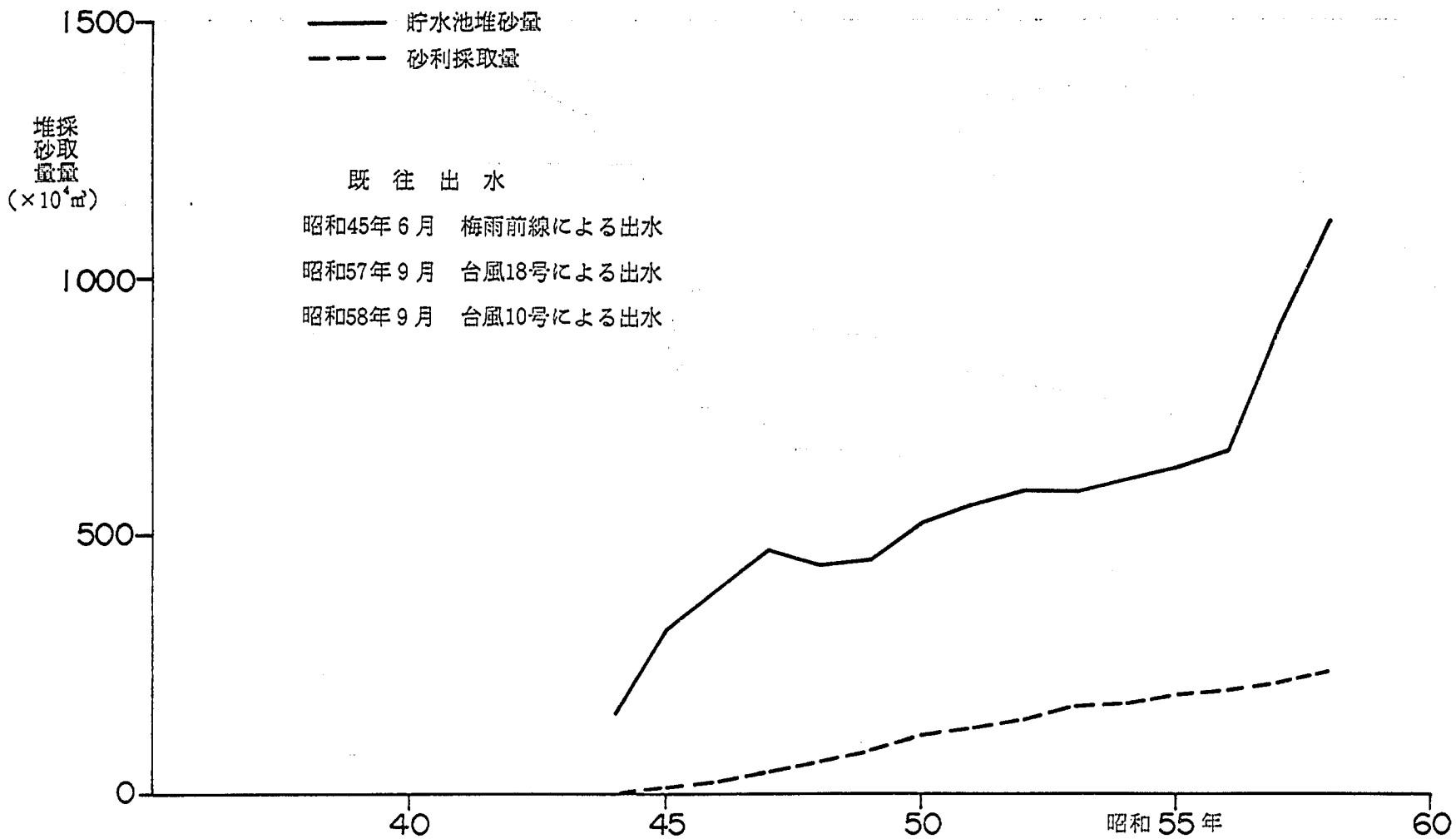




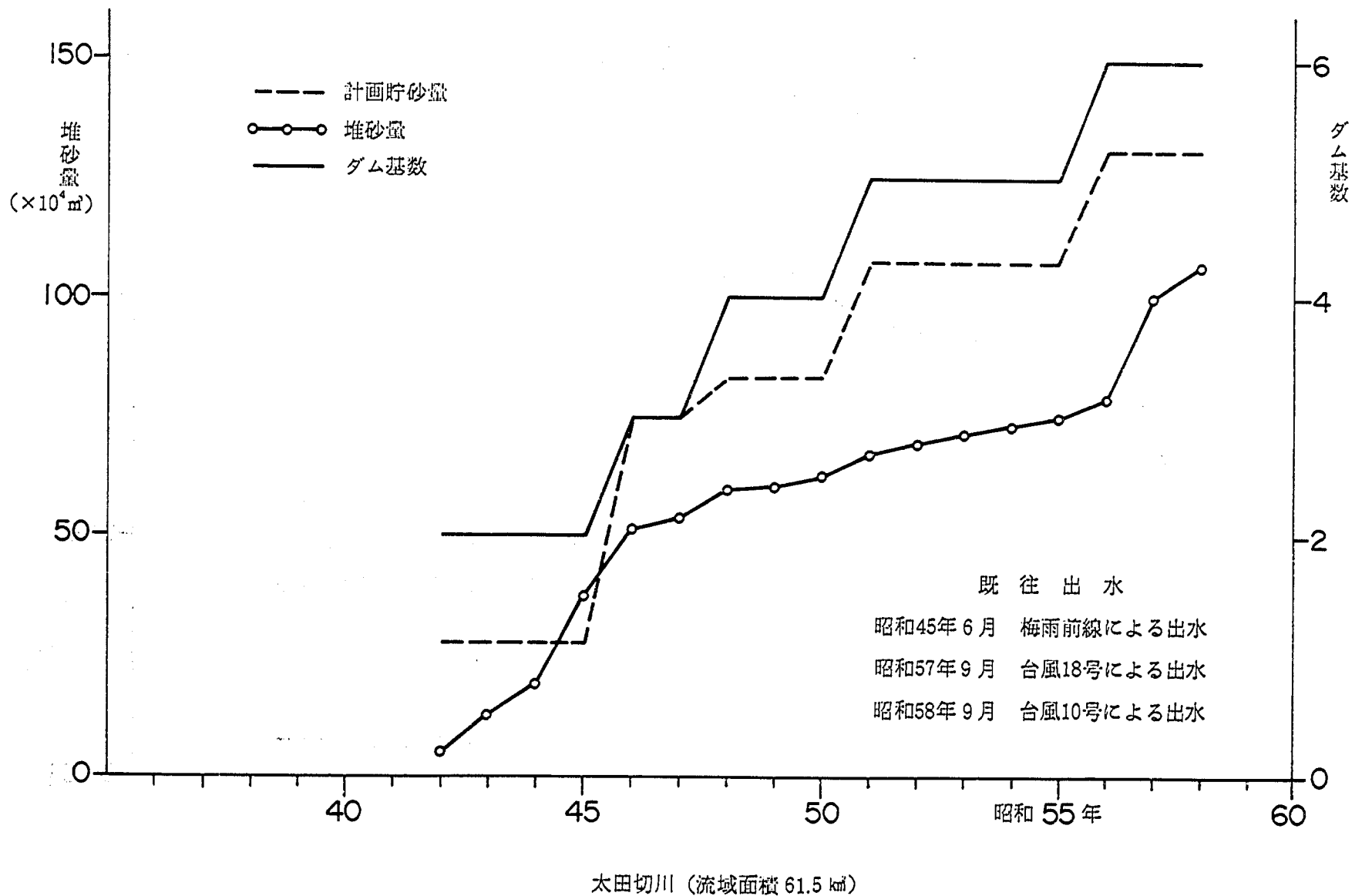


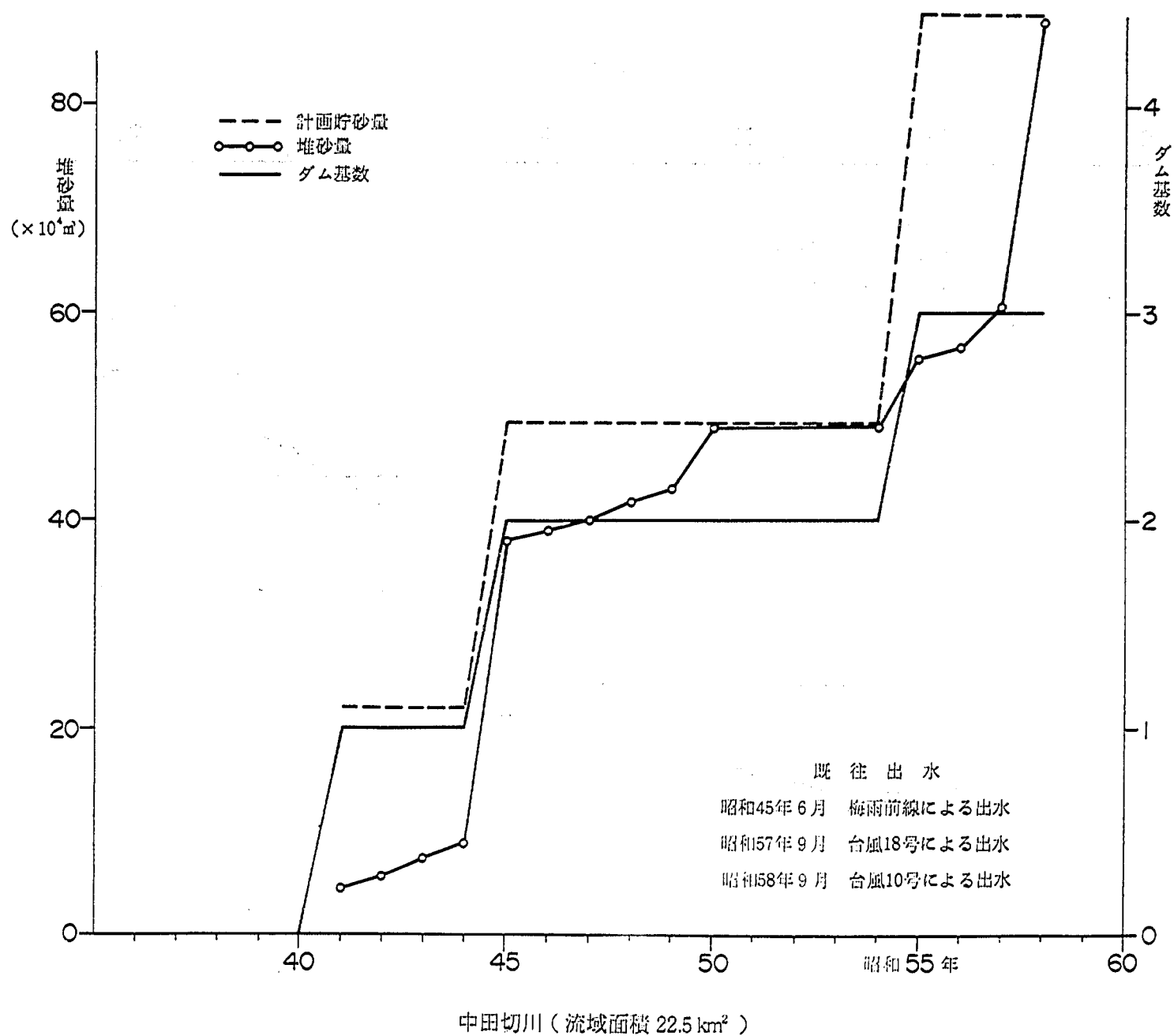
美和ダム（三峰川）（流域面積 311.1 km²）

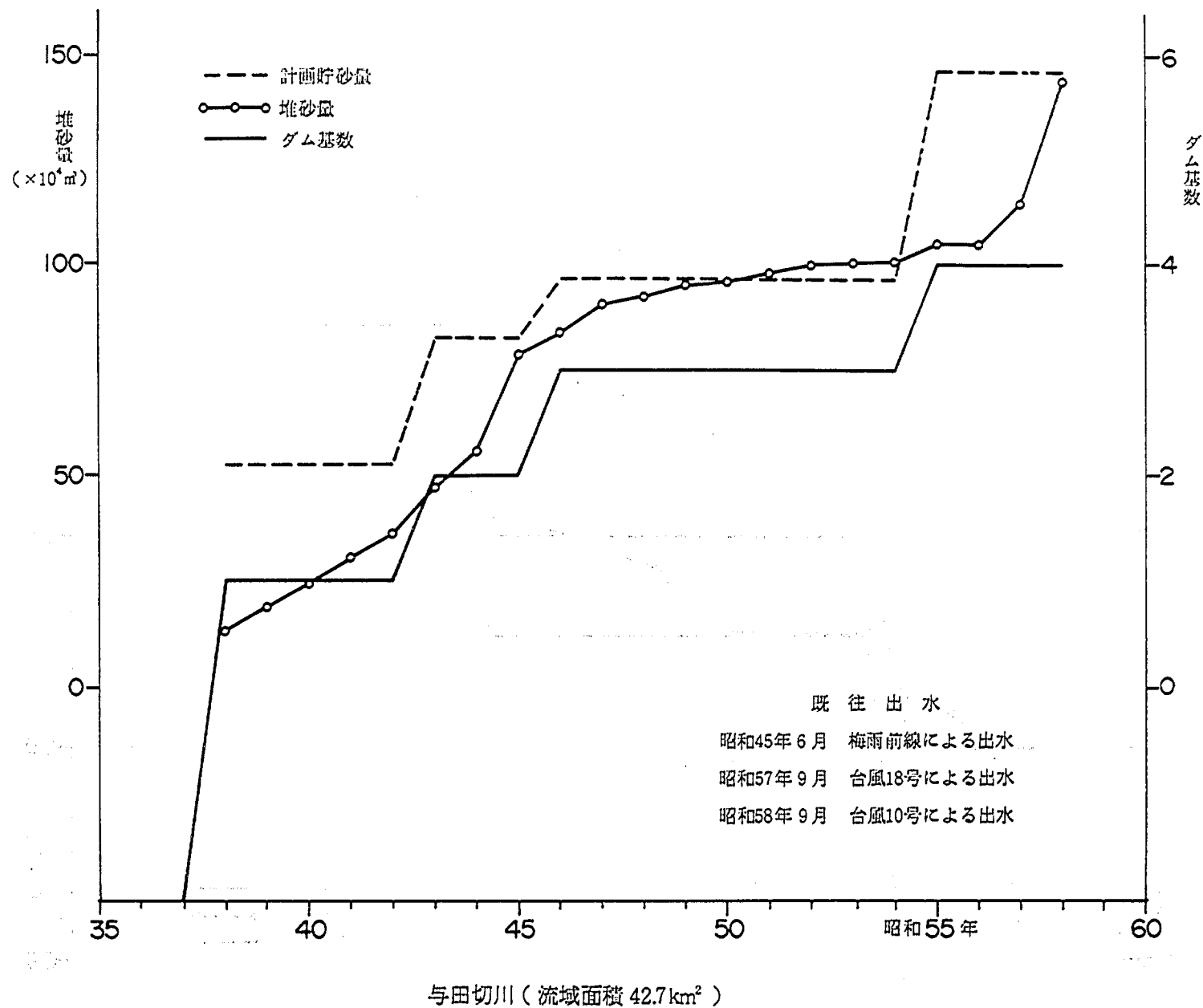


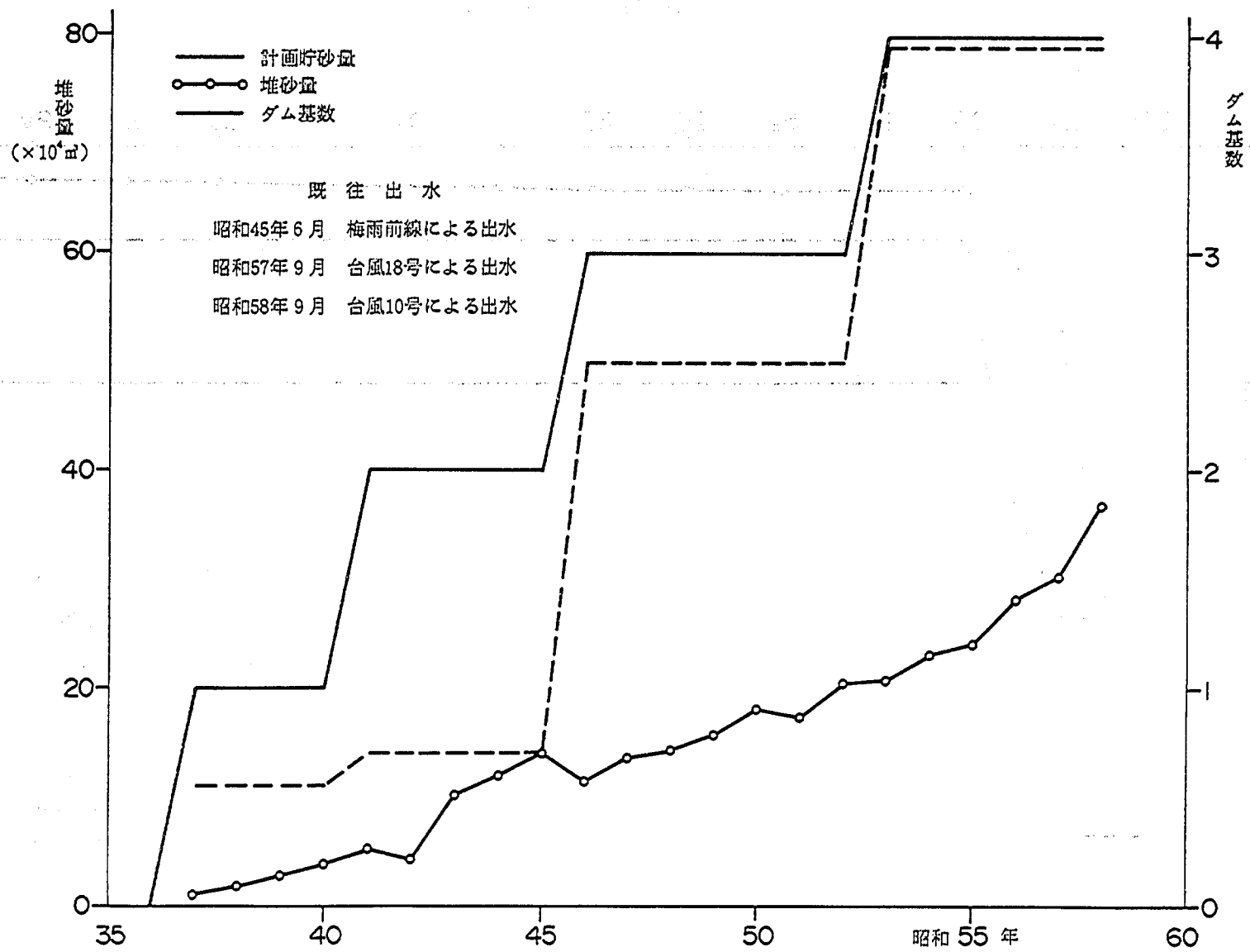


小波ダム（小波川）（流域面積 288.0 km²）

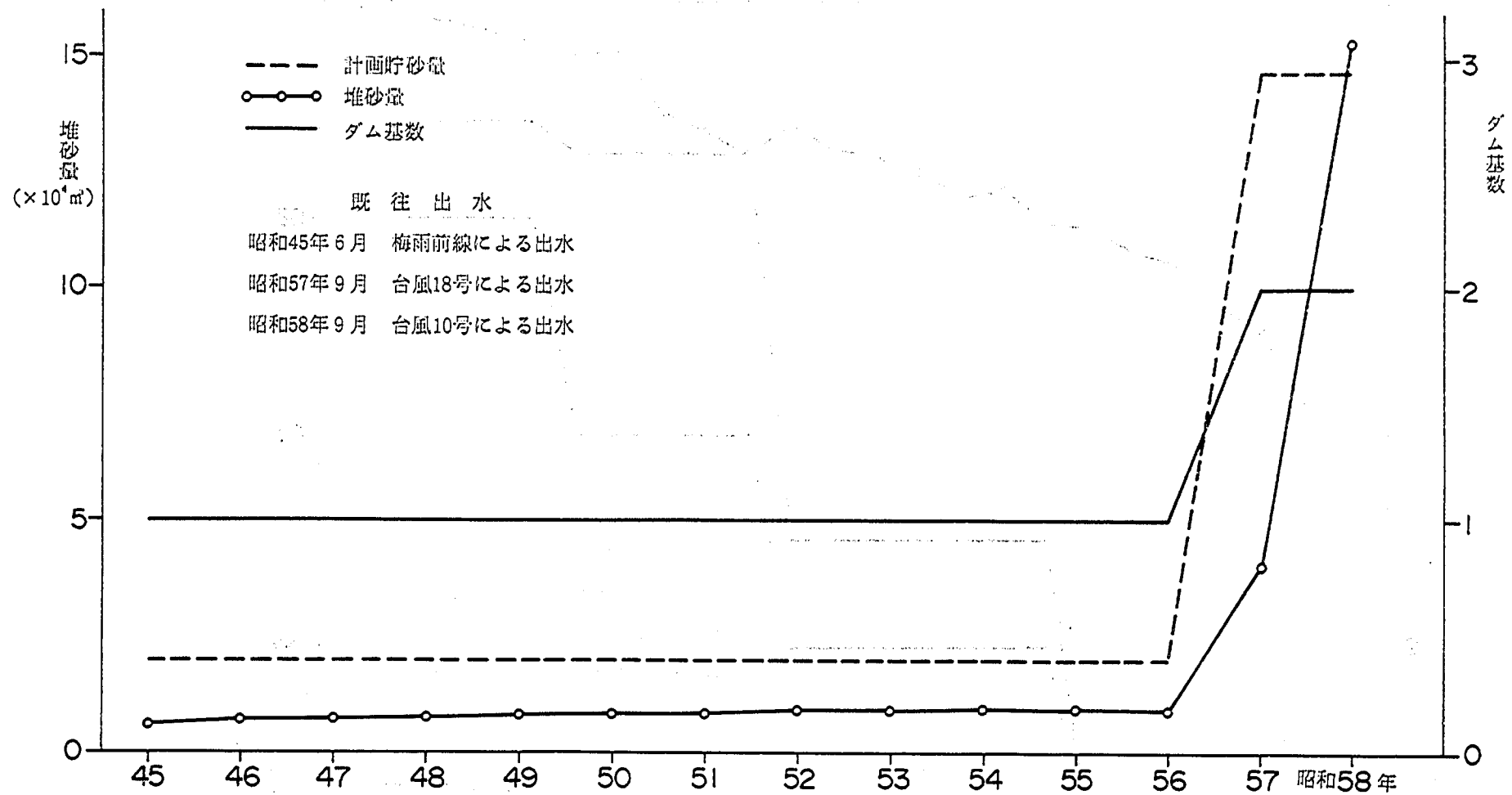




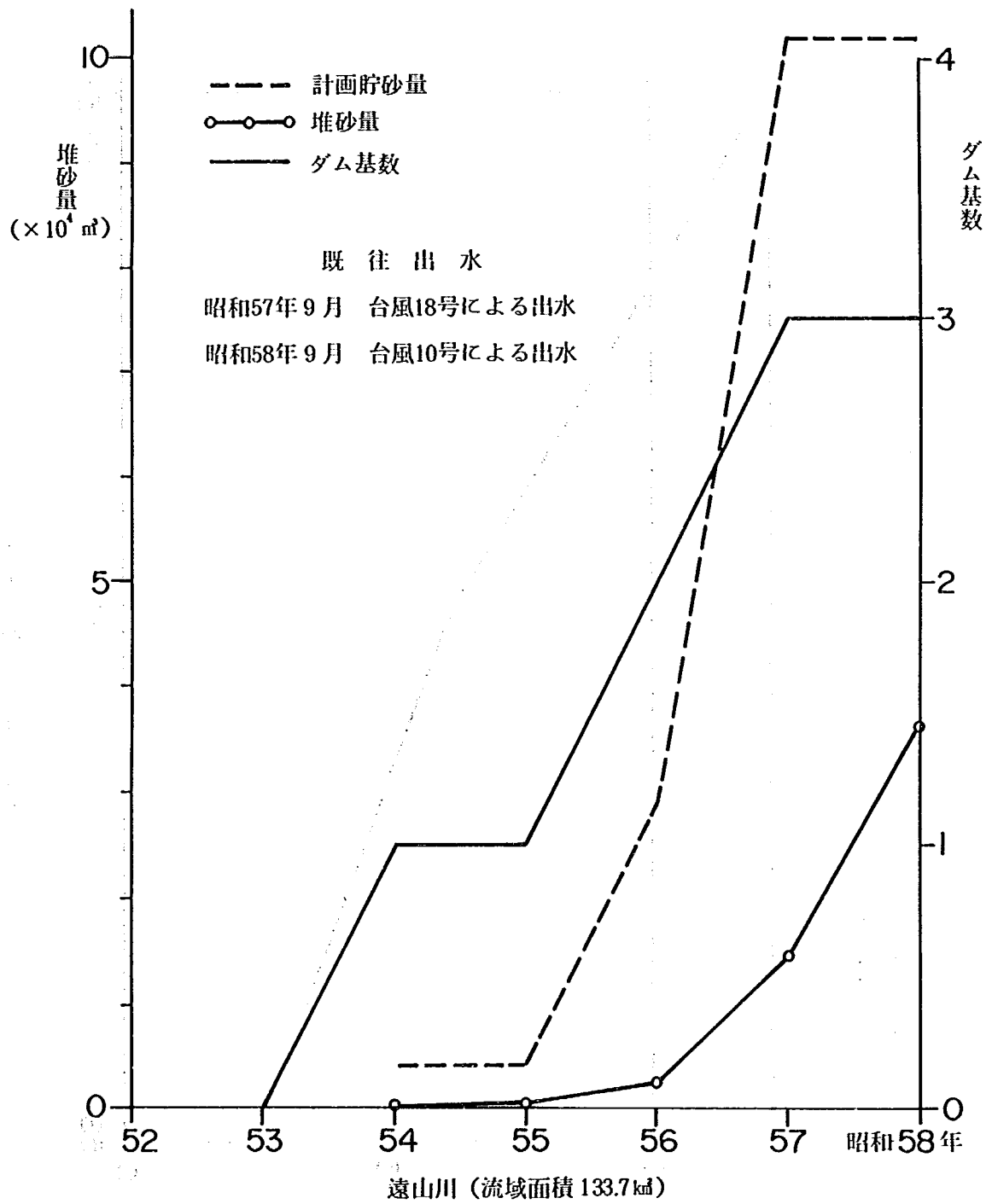


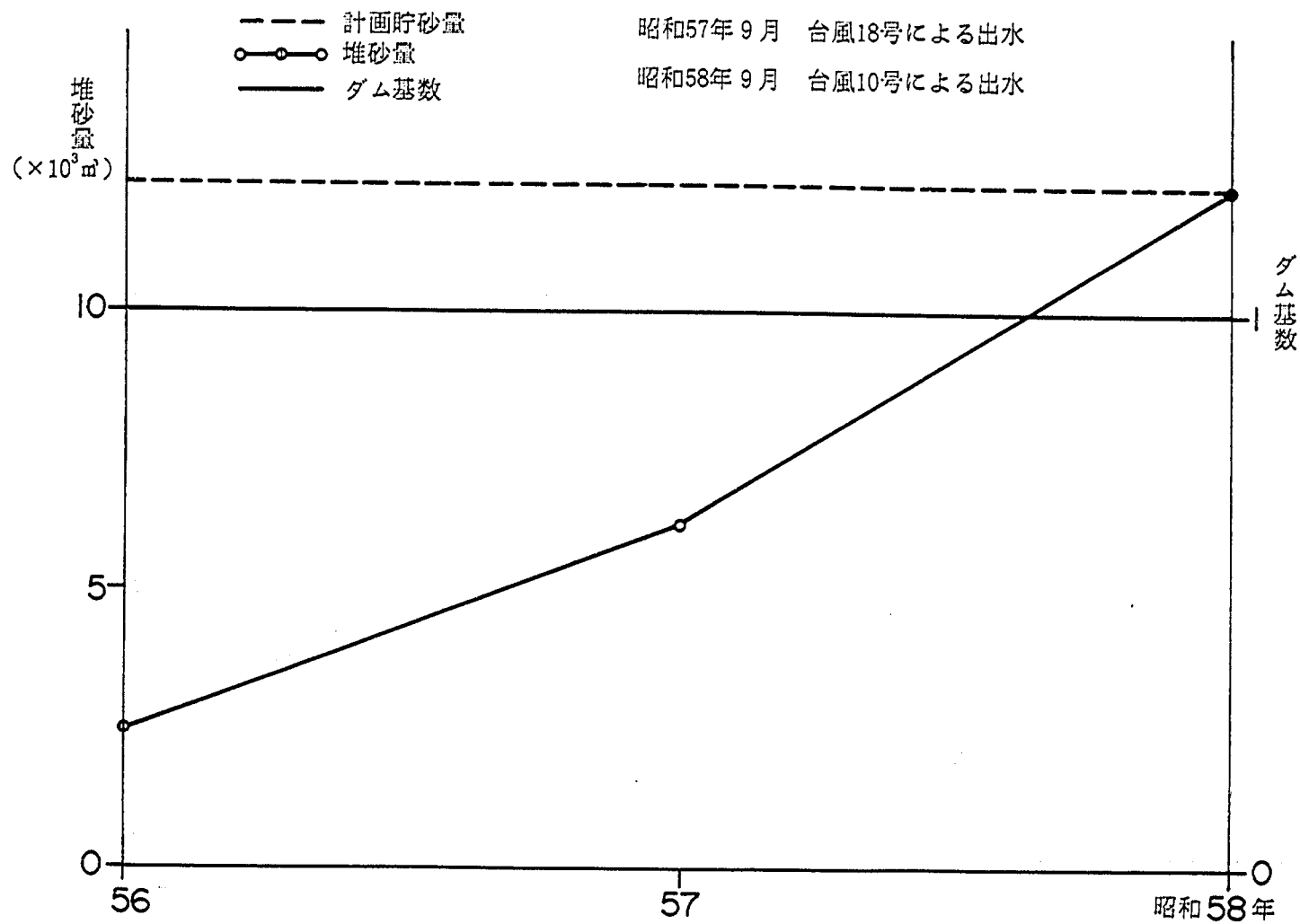


片桐松川 (流域面積 28.4km²)



新宮川 (流域面積 58.0 km^2)

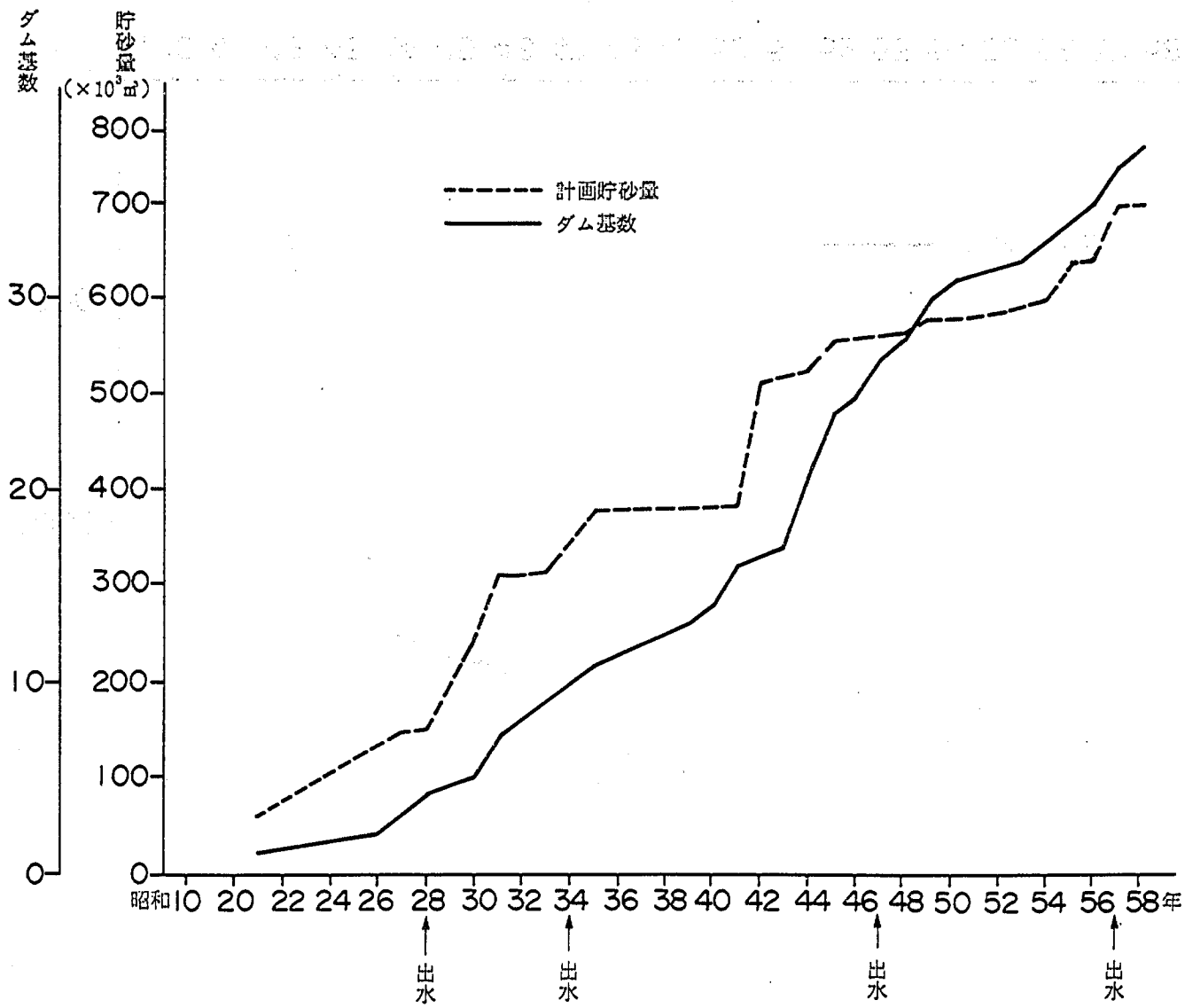




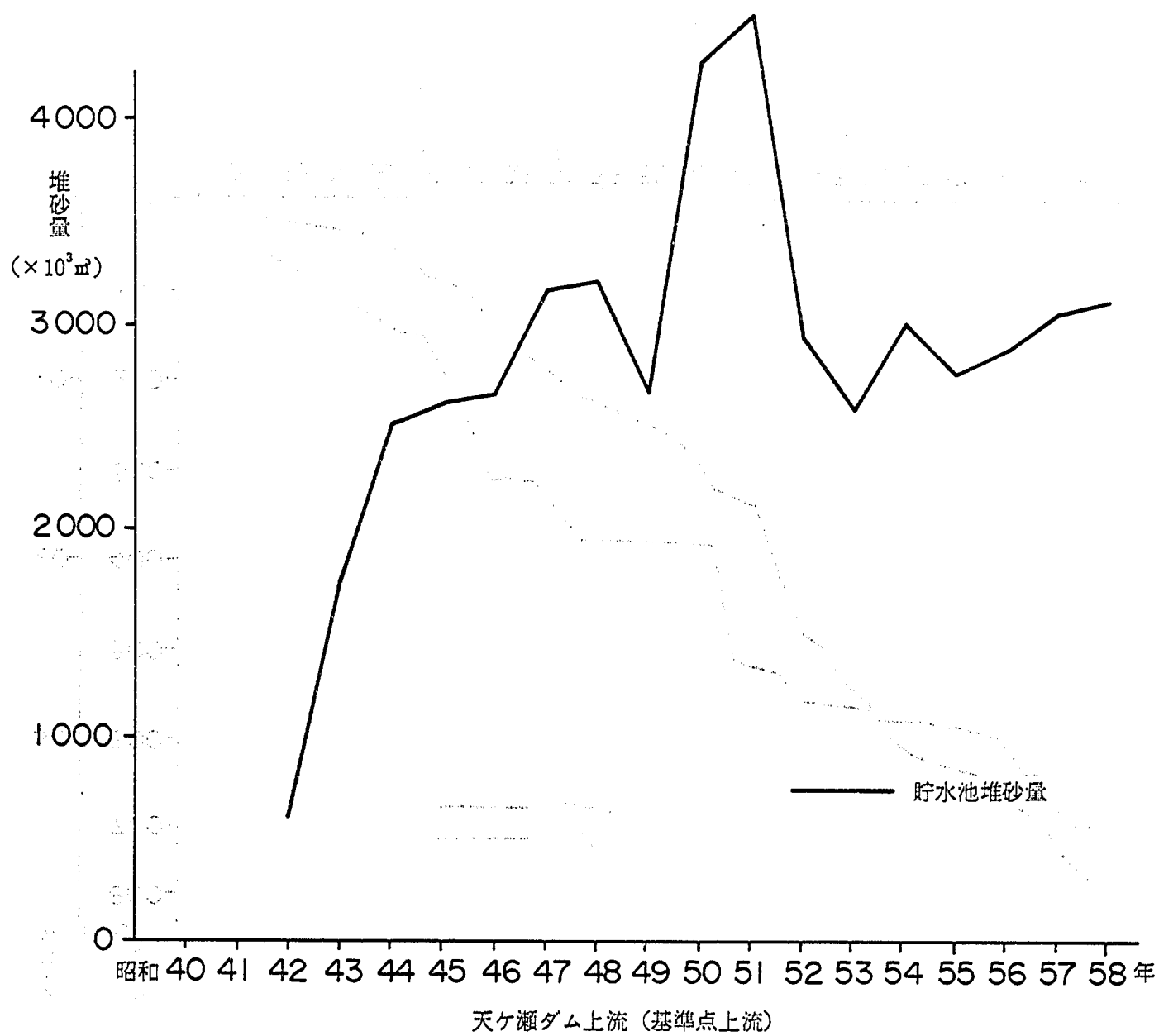
八重河内川 (流域面積 38.7 km^2)

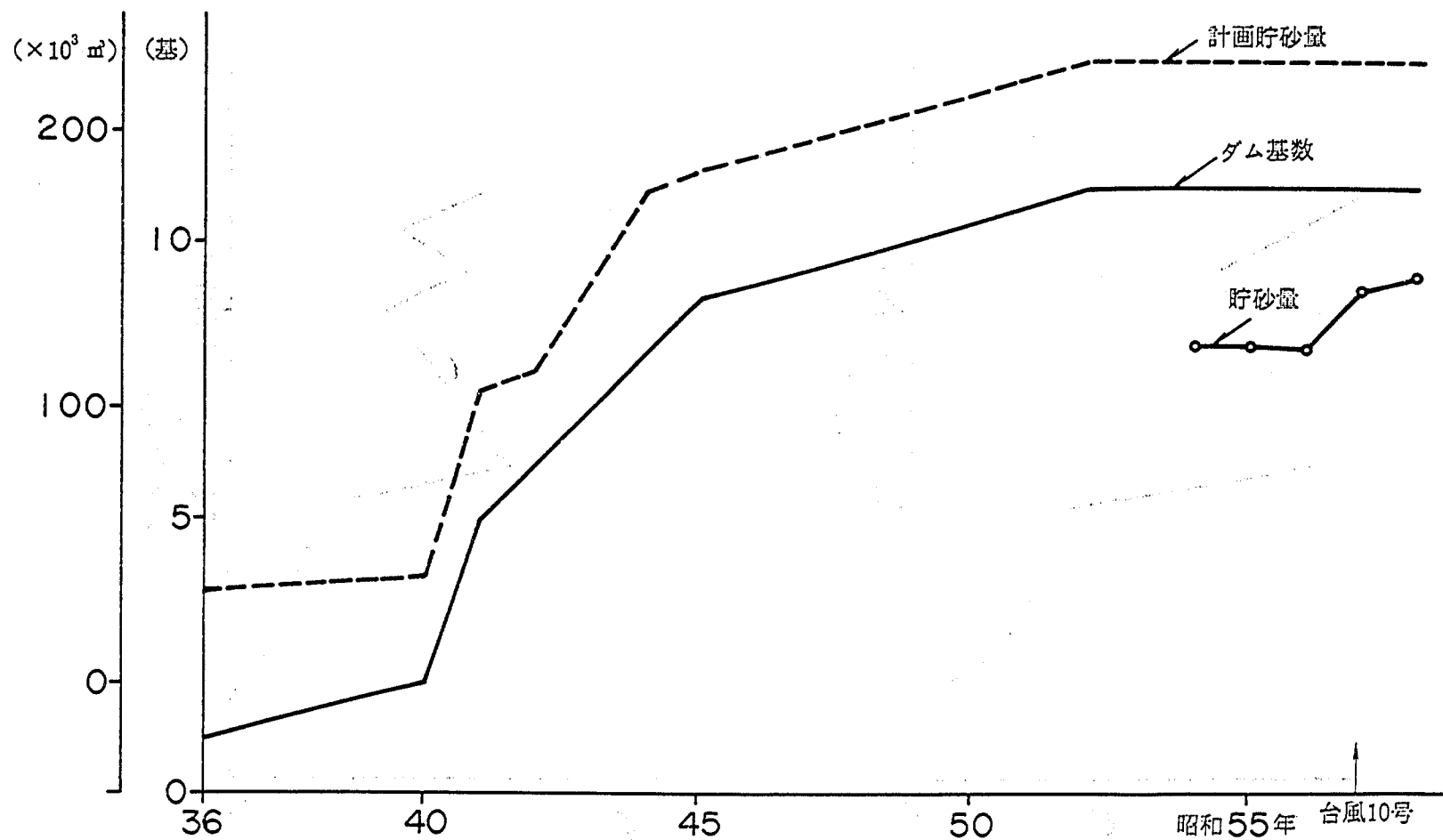
近畿地方建設局

100-1000000

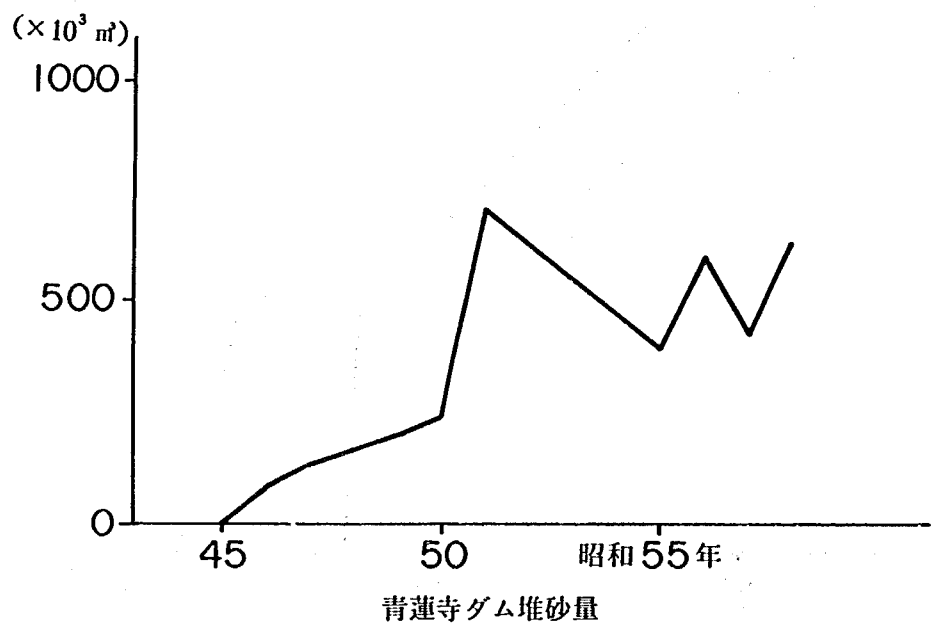
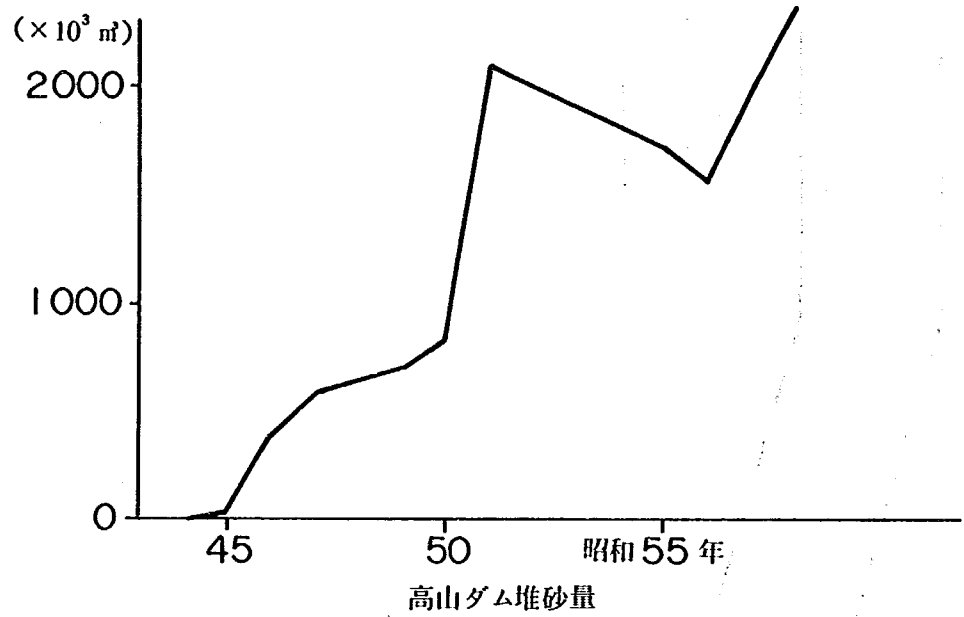


瀬田川 (流域面積 240 km²)



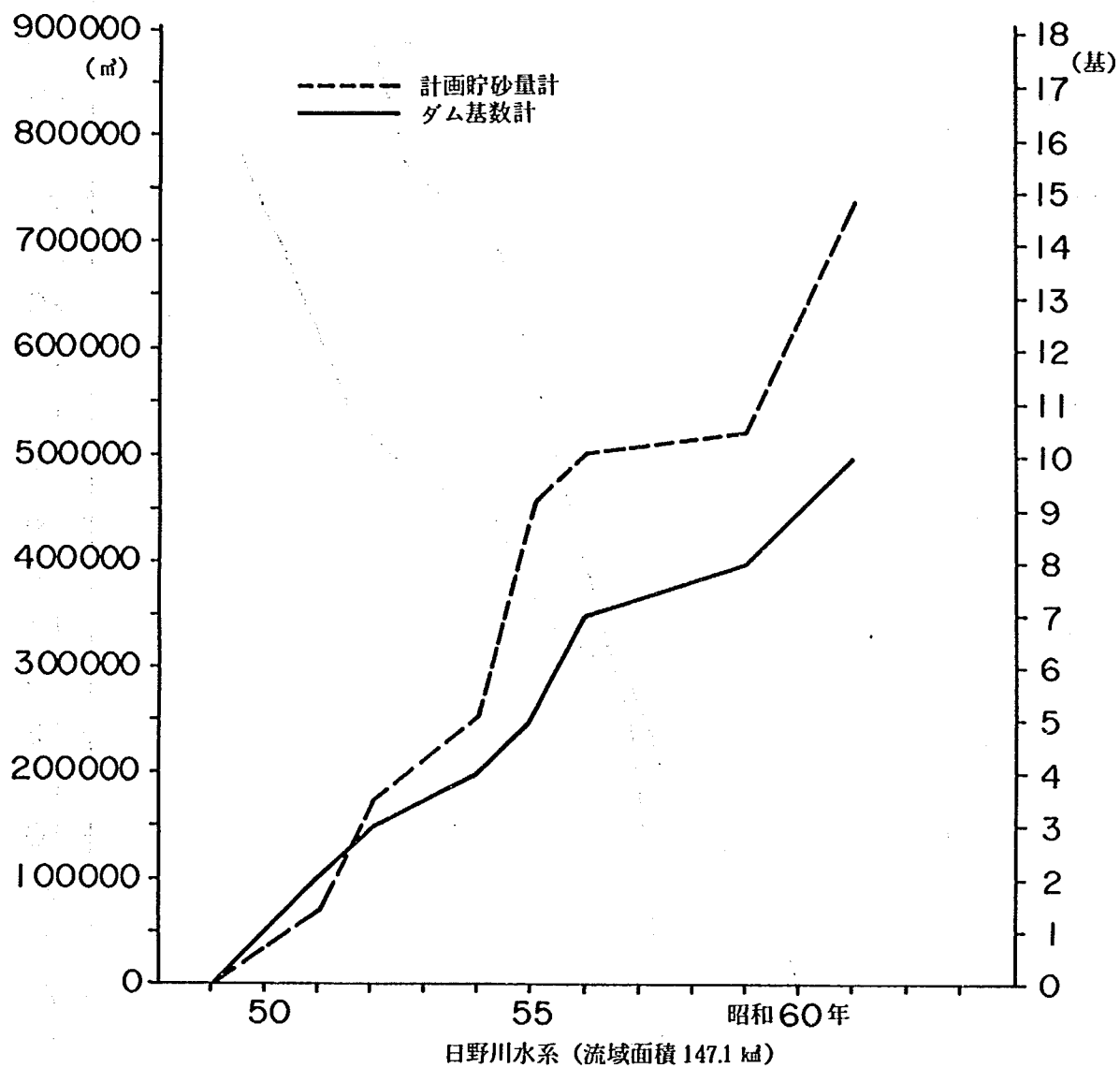


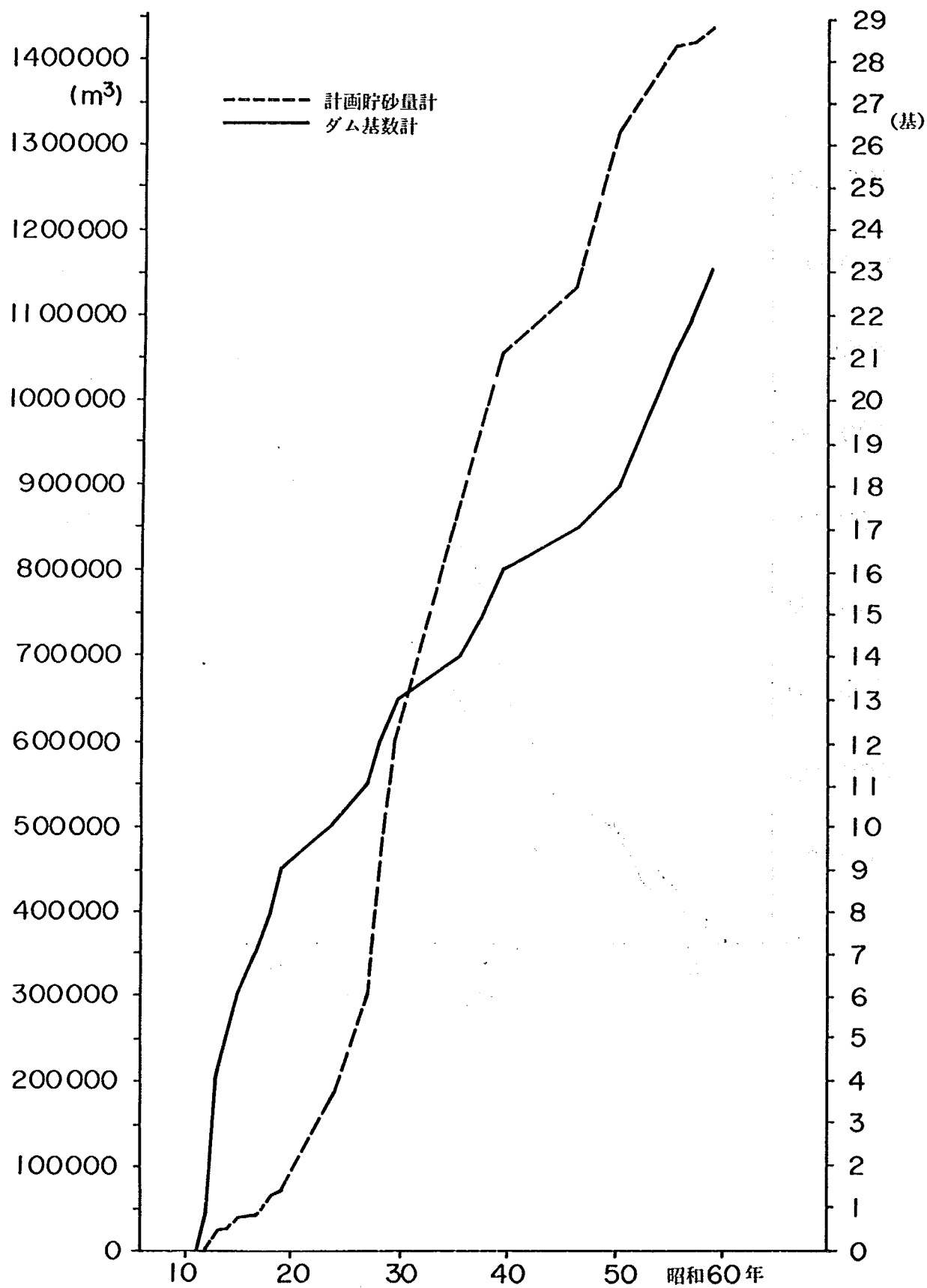
青蓮寺川 (松山堰堤上流 流域面積 9.65 km²)



中国地方建設局

the 1990s, the number of people in the world who are under 15 years of age is expected to increase from 1.1 billion to 1.5 billion. The number of people aged 65 and over is expected to increase from 200 million to 400 million. The number of people aged 15 and over is expected to increase from 3.5 billion to 4.5 billion. The number of people aged 15 and over is expected to increase from 3.5 billion to 4.5 billion. The number of people aged 15 and over is expected to increase from 3.5 billion to 4.5 billion.

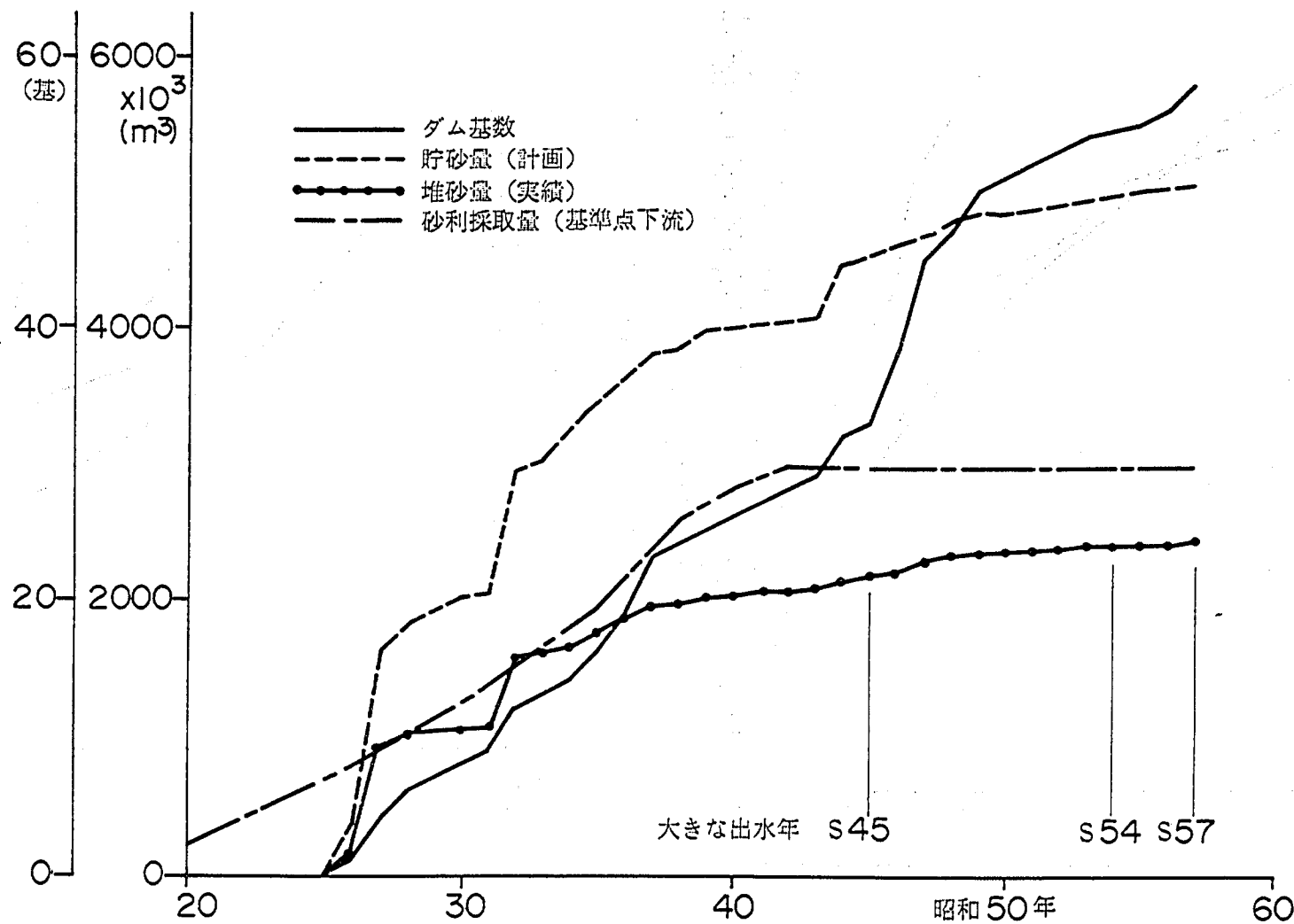




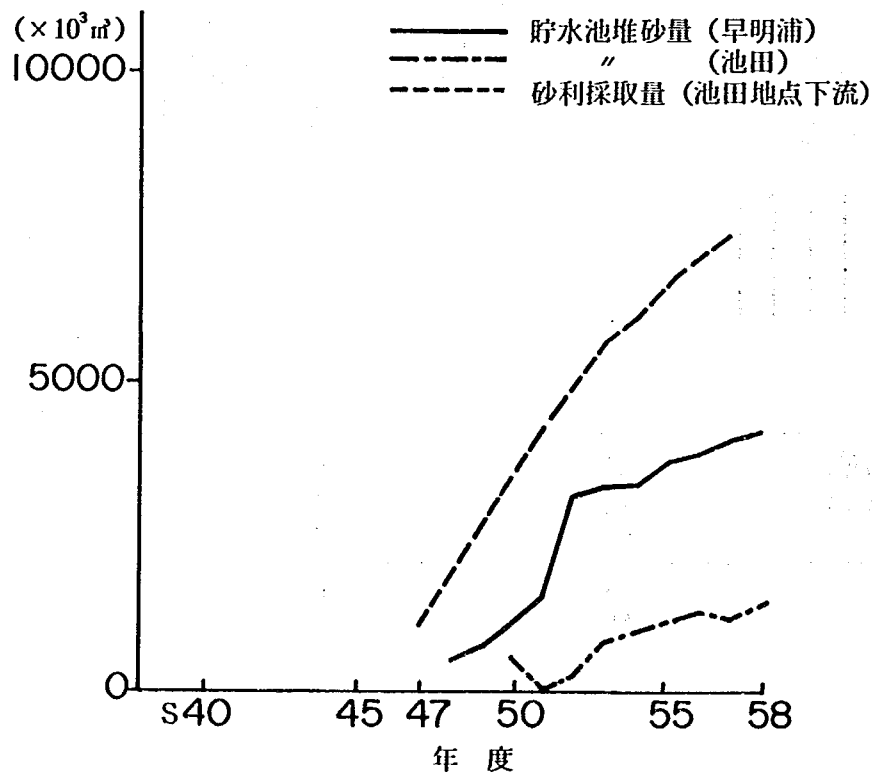
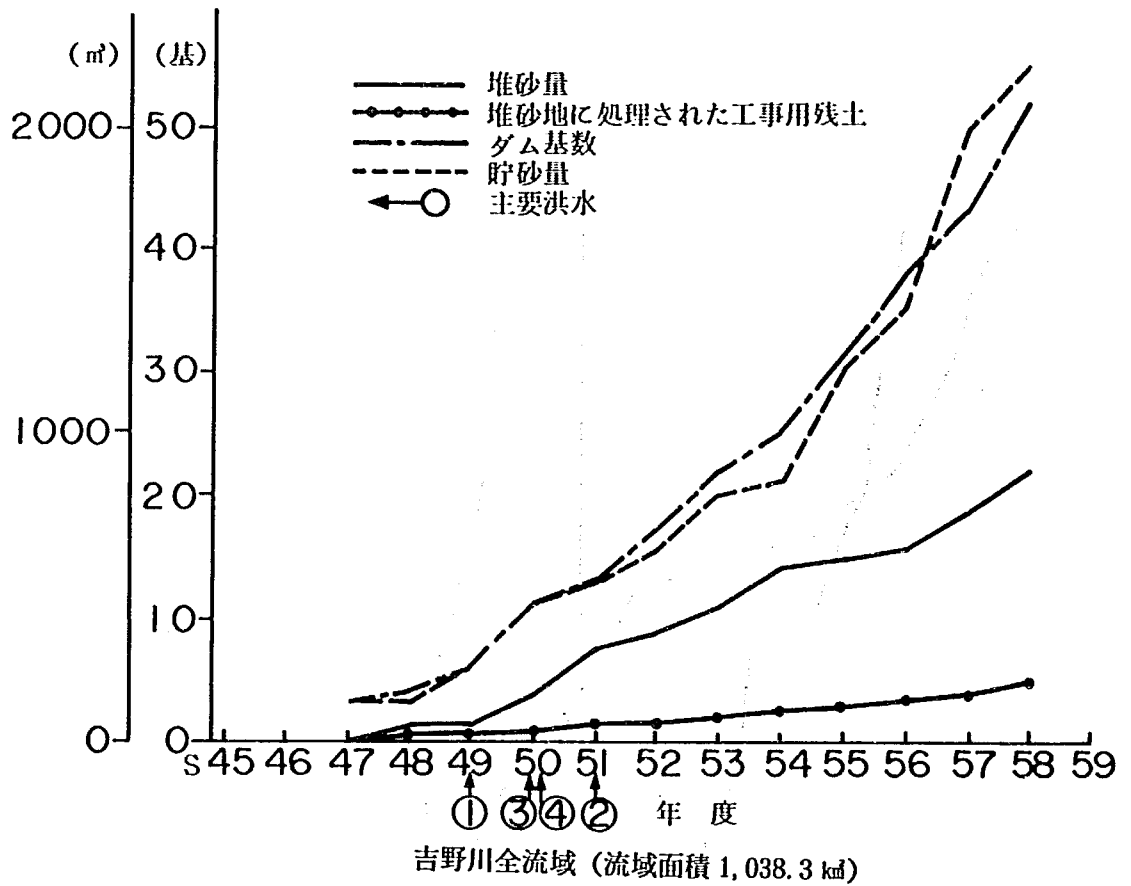
天神川水系（流域面積97.5 ㎢）土砂流出状況調査

四国地方建設局

THE UNIVERSITY OF CHICAGO



重信川総計 (重信川計 + 表川計) 流域面積 136.4 km²



直轄砂防区域における
砂防ダム基数と貯砂量、
堆砂量の実態

I S S N 0386-5878

昭和60年8月(1985)

砂防研究室 矢澤昭夫
水山高久
大場章

要 旨 土砂の管理は水系を一貫して行う必要があり、そのためには流域内の土砂の実態を十分に把握する必要がある。

そこで、直轄砂防事業が行われている流域の砂防ダム基数、計画貯砂量および堆砂量の経年変化をとりまとめた。また、流域内および下流にある貯水池の堆砂量、砂利採取量についても入手できた資料を示した。

キーワード：砂防ダム、堆砂量

郵便はがき

3 0 5 - □ □

下を40
さは円
いつ切
て手

茨城県筑波郡豊里町

大字旭一番地

建設省土木研究所

砂防研究室御中

No. _____

No. _____

配布先氏名

配布先住所



土木研究所資料第2231号 部

直轄砂防区域における砂防ダム
基数と貯砂量、堆砂量の実態

上記のとおり受領しました。

所 属（住所）

氏 名

印